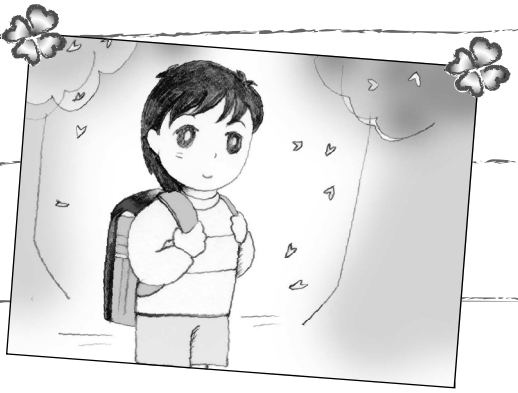
自閉症らいふNote

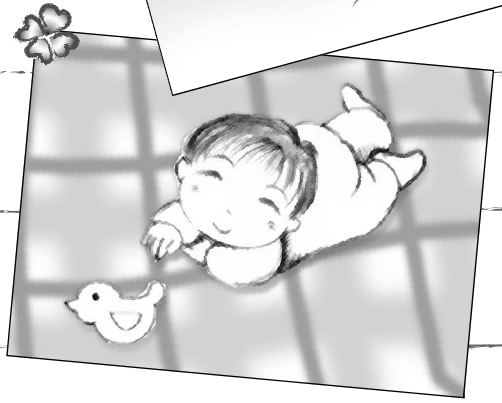
―― 診断を受けて間もないお子さんをもつ　お父さん、お母さんへ ――











ひょうご自閉症・
発達障害支援センター
クローバー

は　じ　め　に

「ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバー」は、社会福祉法人あかりの家が、兵庫県から委託を受け一昨年12月に誕生いたしました。この事業は厚生労働省の目玉施策としてスタートして３年目を迎え、現在、北海道から九州まで、全国20ヶ所の設置となっております。

このセンターの、最初の重要な役割は“窓口”です。間口は広くそして専門性を必須とする“窓口”ができたことに、まずは大きな意義があります。そして、本来の役割は、その“窓口”での様々なニーズなどを、どうつないでどう発信していくかにあります。そして自閉症についての理解啓発を進めながら、兵庫県の自閉症の人達が安心して育ち・暮す体制をどう作っていくか、そういった相当に幅広い役割となっております。

様々な制約はあるにしても、この事業は、自閉症関係者にとりましては悲願という程に待ち望んだ“自閉症に特化された”施策です。私たちの側からすると、大きな期待を担う事業ということになり、大変な責任を感じているところでございます。

ところで、昨年12月、自閉症などの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害を法の対象者として定義された「発達障害者支援法」が成立し、この４月より施行されます。それに伴って、厚生労働省の来年度予算（案）におきましても、自閉症・発達障害支援センターの拡充や発達障害者の理解と支援のための新たな施策が打ち出されております。私たちも、この支援法を追い風に、自閉症の人たちが地域で理解され、地域で自立できる社会作りに向かって役割を果たしていきたいと考えております。なお、支援法の施行に伴い、この「自閉症・発達障害支援センター」は「発達障害者支援センター」に名を替えて再出発することになる予定です。

さて、当センターはオープンから１年３ヶ月を経ましたが、この間1,500件を超える相談や講師派遣などを実施して参りました。その内容は本人理解とか子育てなどに関したものが多く、幼児期から学齢前期の相談が目立っております。実はライフステージにおけるこの時期は、障害を受容し、理解し、どう育て、どう将来を見通していくか、ご家族にとっては大変な時期で、同時に、人生のスタートの大切な時期でございます。

そういったことを背景に、自閉症やアスペルガー症候群などの診断を受けて間もない子どもさんをお持ちのご家族を念頭に、この度、この小冊子を編集してみました。

なお、作成にあたっては、医療・療育・教育・福祉・就労などの分野において、県内各界の第一線でご活躍の方々に、様々な角度から執筆をお願いいたしました。また、自閉症の子どもさんをお持ちのご家族にアンケートをお願いして情報提供をいただきました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

これらの情報などが、診断を受けて間もないご家族の何かの道しるべになって、いくらかでもお役に立てれば幸いです。

なお、この小冊子作成にあたりましては、「財団法人 木口ひょうご地域振興財団」の助成をいただきました。感謝申し上げます。

2005年３月

ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバー
センター長　三原憲二

目　　次

はじめに

第１章　自閉症について

自閉症について …… 1

第２章　自閉症の人たちのライフステージ

出生時

乳幼児健診等について …… 5

わが子の乳幼児期を振り返って …… 6

診　断

診断 …… 7

保　育

保育所（園）・幼稚園について …… 9

知的障害児通園施設について …… 10

就学前の準備

就学に関する手続きと指導 …… 11

就学を控えた子どもをもつお父さん・お母さんへのメッセージ …… 13

学校教育

学校教育について知っておくこと …… 15

小学校の特殊学級での一日 …… 17

盲・聾・養護学校 …… 19

養護学校の一日 …… 21

小学校の通常学級での一日 …… 23

養護学校における進路と現状について …… 25

地域生活

自閉症の人たちが地域生活を送る上で大切なこと …… 26

福祉施設

主な福祉施設等の種類と内容について …… 28

授産施設（通所）の一日 …… 30

更生施設（入所）の一日 …… 32

地域生活援助事業（グループホーム）の一日 …… 34

就　労

自閉症の人たちの就労における現状と課題 …… 35

一般的な障害者就労の流れ（例） …… 37

主な就労支援機関一覧 …… 38

親 の 会
(社団) 日本自閉症協会　兵庫県支部 …… 40
(社団) 日本自閉症協会　兵庫県支部　高機能ブロック　兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会
「ピュアコスモ」 …… 41

第３章　子育て、発達に関するご相談は・・・

保健センター …… 43
こども家庭センター (児童相談所) …… 45
障害児（者）地域療育等支援事業 …… 46
兵庫県立障害児教育センター・ひょうご学習障害相談室 …… 47
その他の相談窓口等 …… 48

第４章　制度について (福祉、医療、就労等)

療育手帳 …… 49
支援費制度 …… 50
年金・手当 …… 51
税の軽減・免除 …… 52
成年後見制度 …… 53
医療費助成 …… 55
障害者雇用における施策、制度 …… 56

第５章　付　　録

サポートブック、プロフィールブックを作ってみよう …… 59
自閉症スペクトラムのお子さんに関するアンケート集計 …… 65
ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバー …… 69
全国の自閉症・発達障害支援センター　一覧 …… 70

第1章
自閉症について

自閉症について

１．自閉症の概念

「自閉症」は、生まれつきの脳の障害に基づいて起こる発達障害の一つです。見る、聞く、感じる等の情報を適切に処理することができず、人との交流、コミュニケーション、行動などに偏りが生じます。「自閉」ということばから連想される「人に無関心で、自分の殻に閉じこもっている」「心を閉ざしている」等、特定の心理状態を指すものではありません。

２．基本症状

１）社会性の障害

目があわない、親を求めない、どこかに行ってしまうなどの幼児期の特徴的な行動から、他者と気持ちを共有することができない、人の気持ちがよめないといった社会的相互反応の問題に至る幅広い状態像を示します。実際には他者との関わりを拒否する場合から、一見人懐っこいとみえる場合までさまざまな状態が認められます。

２）コミュニケーションの障害

①言語性コミュニケーション

ことばの遅れから始まり、ことばが出てくるようになっても、おうむ返し、人称関係の誤り、会話が困難など、自閉症独特の言語発達がみられます。言語能力が向上しても、比喩や冗談の理解や、会話による感情交流が難しいことが特徴で、話をしているほどには理解ができていないことが多くあります。話し方も不自然で抑揚に乏しく、一本調子になりやすく、また年齢にふさわしくない大人びたしゃべり方をするなどの特徴がみられます。

②非言語性コミュニケーション

表情やジェスチャーといったコミュニケーション手段を適切に使うことができず、また相手の発したそれらの意図を読み取り、理解することも困難なことが多くあります。

３）イマジネーション（想像力）の障害

一般的にこだわりと呼ばれるもので、普通にみられる活発な想像力を駆使した遊びのかわりに、自閉症児は多彩なこだわり行動を示します。反復的な行動から、特定のものにだけ著しい興味を示す、順番や物の位置への固執などがあげられます。ごっこ遊びも独特で再現遊びになりやすいです。これらは、目の前に実在しない物を考えたり、実際にない事柄を考えることが苦手なために起こり、不測の事態に臨機応変に対応することができず、そのため、「いつもどおり」を好み、興味や関心が偏りやすい傾向にあります。逆に「秩序」を守りたいという特性が長所として発揮されると、一定の手順を繰り返す生活習慣が定着しやすくなることがあります。

３．附随することが多い症状

１）感覚刺激に対する反応の異常

それぞれの分野に過敏あるいは鈍感なことがあるため、生活のしにくさと関係していることが多く、大人になっても持ち続けると言われています。

①聴　覚

特定の音に過剰な嫌悪感を示し、時には耳をふさいだりします。逆に、みんなが嫌う音が平気な例や、音への反応が遅れる場合もあります。聴覚の過敏さが、人ごみやレストランを嫌がる理由になることがある一方で、エンジンの音を聞いただけで車の種類が区別できる人もいたりします。

②視　覚

光るもの、回るものを見ていることを好んだり、特定の見え方を楽しんだり（横目で見る、手をかざして見る、いろいろな角度から見るなど)、光を極端にまぶしがることもあります。

③味　覚

偏食と関係があることがあります。多くの人がおいしいと感じる味を変な味と感じていたり、偏食が単に「わがまま」のためだけではないことに注意が必要です。

④嗅　覚

家以外のトイレが使えない理由になることがあります。また、はっきりと体臭や口臭などを指摘するためトラブルをおこすこともあります。

⑤触　覚

赤ちゃんの時、抱っこされるとそりかえったというエピソードで報告されることがあるように、乳児期から触れられること、洋服が肌に接する感覚（シャツのタグなども)、耳垢をとる、散髪をするなど数々の場面でみられます。毛布をなでるのが好き等特定の触覚刺激に偏った好みを示す場合もあります。

⑥痛　覚

痛みに対しても過剰に敏感な場合と、無頓着な場合があります。例えば、注射に異様なほど恐怖心を持っていたり、逆に、予防注射をうけても泣かないのに採血では大泣きする子もいます。

２）睡眠障害

睡眠リズムがなかなか確立しなかったり、睡眠時間が極端に短かったり、夜中にたびたび目を覚ますなどいろいろな睡眠障害がみられることがあります。

３）多動・不注意・衝動

自分の興味にであうとその衝動性が抑えられなかったり、自分の好きなことで頭がいっぱいになると他のことに気付けなかったり等の自閉症の基本症状で説明できる行動と説明できない行動がみられます。

４）不器用

粗大運動（体を動かす大きな運動や身のこなし）と微細運動（手先を使うことや表情筋を動かすことなど)、両者の不器用さを伴う子が多くあります。

５）てんかんと脳波異常

脳波異常を高率に認め（65～85%)、てんかんの発症も10～20%に認められます。てんかんの発症は10歳を過ぎてからが多いので注意が必要です。脳波異常については、前頭葉、頭頂葉からの出現が多く前頭葉の機能障害と関係するともいわれています。

自閉症のとらえ方の変遷

自閉症は多様で、同一症例でも年齢によっても大きく状態に違いをみせる障害であることが明確になり、自閉症の概念が最近変わってきています。基本症状を典型的に認める自閉症から、いわゆる「自閉症的」なところのある状態全てをまとめて「広汎性発達障害」として捉える考え方が中心となってきています。

自閉症の歴史

最初の報告は、1943年にアメリカの精神科医レオ・カナーが「情緒的接触の自閉的障害」として、言葉がないかあっても他人に意思を伝えるために使わない、情緒的接触が欠如している、物事をいつまでも同じにしておこうとする欲

求が強い、人に対する興味は少ないが物に対しては強い関心を示すなどの症状を示す11例を報告しました。現在、これらの症例は、「古典的自閉症」または「カナータイプの自閉症」と呼ばれています。以後、自閉症の本態は情緒障害であると考えられ、育て方の問題によっておきる心の病気と考えられてきました。

報告後しばらくは、この考え方が中心でしたが、1960年代になり、マイケル・ラターが育て方の問題ではなく、生まれつきの何らかの器質的または機能的な障害があっておこってくる発達障害であると報告し、コペルニクス的展開を遂げました。

一方、1944年にオーストリアの小児科医ハンス・アスペルガーが自閉的精神病質として、心が通じにくいというより非常に不適切な又は奇妙な行動、常識のないような行動をとる４例の男子を「自閉的精神病質」としてカナーとは独立して報告しました。しかし第二次世界大戦中にドイツ語で報告されたため注目されませんでした。1980年代になり、アスペルガーの報告と同じような症状と経過をたどる例が多数報告されるようになりアスペルガーの報告が再評価され、カナーの報告した事例とアスペルガーが報告した事例の本態は同じであるという考えから、両者を広汎性発達障害の一部として考えるようになりました。

自閉症の診断

行動観察から症状を組み合わせて行います。次の二つの診断基準がよく用いられます。

１）米国精神医学会の「診断と統計のための手引き第四版（DSM―Ⅳ）」

２）世界保健機構（WHO）の「国際疾病分類第10版（ICD―10）」

なお、脳画像検査、血液検査等の医学的検査は一部を除いて異常を認めないことが多いです。

疫学

疫学調査が行われるようになった20年ほど前は、自閉症の有病率は4,000～6,000人に一人と言われていましたが、最近では500～1,000人に一人と言われています。また、広汎性発達障害の考え方では、100人に一人位いるめずらしくない障害といわれるようになってきています。また、男女比では男児は女児の３～４倍多い特徴があると言われていましたが、より非典型的な子どもまで含めた最近の調査では、女児は従来の報告より多いといわれています。知的な能力は最重度の遅滞から正常知能のものまでさまざまです。

治療

１）自閉症の認知特性を理解した関わり

①雑多な情報の中から必要な情報を取捨選択して焦点をあてることが難しく、また、次の焦点へ切り替えることが困難です。

②複数の情報を同時に処理し、つなぎ合わせることが困難です。

①②の特性のために、「一部分が優先され全体の把握が苦手」「一つ一つの情報は常に個別的で汎化できない」「次に起こることを予測できない」「他者の立場になって考えることができない」等の社会性の障害に関係してきます。

以上から関わる時は、情報をしぼって提示し、雑音を排除していくようにしたり、同時に二つの情報を与えないことを基本にしていきます。また、視覚的な情報が入りやすいことが多いので言葉だけで伝えるのではなく、絵や文字などの視覚的支援を行うと効果的なことが多くあります。こだわりについては、強制的にやめさせるのではなく何かに活かせるような配慮が必要です。

２）薬物療法

自閉症の薬物療法は多くは対症療法で、原因論に基づいた薬は今のところはありません。薬物療法は自閉症の過敏性など生理学的な不安定さを軽減させることが可能となり、療育を進めやすくする。抗精神病薬、抗うつ薬等が用いられています。

その他

1）タイムスリップ（フラッシュバック）

強い不快な体験は時間を経ても薄まらず、不快体験が蓄積されます。

そして、些細な不快の度に以前の不快体験が思い出され、パニックになっていくことがあります。

2）用語について

①自閉症スペクトラム

典型的な自閉症の人と自閉症の症状を少しだけ持っている人の間は連続しており、軽い人から重い人、こだわりの強い人から弱い人までいろいろなタイプがあり、「連続体」としてつながっているという考え方で使われています。基本的には、広汎性発達障害とほぼ同じと理解していいといわれています。

②高機能自閉症

知能に明らかな遅れがない自閉症という意味で用いられています。一般にIQ70以上を指します。「高機能」という言葉から、「社会適応が良い」、「障害が軽い」というように捉えられがちですが、そういう意味ではありません。

③アスペルガー症候群

DSM―Ⅳの診断基準では、自閉症の中で言語発達遅滞や言語による意思伝達の障害のないものをいいます。

英国の精神科医ローナ・ウイングらは対応の方針を考える意味では、自閉症とアスペルガー症候群を区別する意味はないという考えから、「一見自閉症にみえない自閉症」で、症状が典型的に現れていない自閉症をいいます。

(小寺沢　敬子)

参　考

・内山登紀夫,水野薫,吉田友子,高機能・アスペルガー症候群入門,中央法規出版.
・市川宏伸,広汎性発達障害の子どもと医療,かもがわ出版.
・杉山登志郎,自閉症,精神科治療学,第16巻増刊号.

第2章
自閉症の人たちのライフステージ

乳幼児健診等について

子育ては喜びも大きい半面、悩んだり困ったりすることも多いですね。子どもの表情やしぐさのかわいらしさは、お父さんやお母さんにとっては何物にもかえがたいもの…。あせらず、ゆっくりと育児を楽しみましょう。一時的には育児に悩んだり、イライラしたり、不安に思うこともあるでしょうが、それは誰もが経験することです。子育てはマニュアルどおりにはいかないことが多いですし、小さなことが気になったり、不安になったりすることも多く、試行錯誤の連続ですよね。特に発達や発育については個人差が大きいものです。子どもはみんな個性豊かでひとりひとり顔が違うように、成長発達も少しずつ早かったり、ゆっくりだったり、ひとりひとり違います。ふっくらしている子もあればほっそりしている子もいますし、運動機能やことばの獲得、情緒の面の発育にも個人差がみられます。子どものこととなると何でも心配になってしまいますが、あまり悩みや不安にとらわれすぎていると育児の楽しい面が見えなくなってしまいます。よその子と比べて一喜一憂するのでなく、全体の様子を見ながらその子なりの成長を見守ってあげることが大切です。子どもたちは生まれながらにして育っていく力を持っていますから、あまり、くよくよ心配せず、おおらかな気持ちで子育てを楽しんでほしいなと思います。

子育ての悩みや不安があるときは、一人で悩みを抱え込まずに、身近な家族や友人、医師や保健師等に相談してください。自治体では母子の健康を守り、子どもを健やかに育てるために、様々なサービスを行っています。自治体や民間で行っている育児支援のサービスを利用しながら、安心して子育てを楽しみ、あせらずに、前向きに育児を楽しみましょう。困ったことがあれば、あなたの市町の保健センターや最寄りの健康福祉事務所（保健所）の保健師にご相談下さい。

市町では子どもの成長の節目の時期に乳幼児集団健診を実施しています。集団健診は医師、保健師、栄養士等の専門職が健康状態や、身体面、運動面、心理面の発育・発達をみると同時に、同じ月齢の子どもやご家族が集まるので家族同士が仲良くなるきっかけにもなります。順調に成長しているか、何か病気がないかなどをみてもらい、子どもの成長を確かめることができますし、発育・発達の節目にありがちな悩みや不安、普段の気がかりな部分を相談できる場です。子育てを支援してくれる場として積極的に健診を受けて欲しいと思います。

自治体で実施している健診は、３～４ヶ月、１歳６ヶ月、３歳の時期に受けることになっています。地域によってはそれ以外の時期にも行っており、対象月齢や回数、内容等は異なりますので、保健センターなどからのお知らせには日ごろからよく目をとおしておきましょう。また、健診以外にも乳幼児相談を毎月開設したりして、いつでも相談できる場を提供している自治体が多いです。広報誌にも健診及び相談日の情報は掲載されるのでご確認ください。

このような健診を受けて、さらに二次的な相談をすすめられたり、専門機関を紹介される場合もありますが、お子さんの状況を正しく理解し、その子に応じた支援が必要なこともありますので、健診の結果や支援者のことばにショックを受けたり不安に陥ったりしないで、わからない点は納得できるまでたずねていただき、前向きに子どもの成長を見守ってあげてほしいと思います。周囲の大人たちは、これから長い人生を過ごしていく子どもの可能性を少しでも発揮できるような環境を整えていくことが大切です。「落ち着きがなく走り回っていて他の子と一緒に行動できない」「興味が偏りすぎている」「呼んでも振り返らない」など様々な不安もあるでしょう。周囲の何気ない一言に傷つくことがあるかもわかりません。保健師は継続してお子さんの様子をご家族と一緒に見守り、ご家族の不安な気持ちを受け止めながら、ご家族が前向きに子育てできるようサポートしていく姿勢ですので、いつでもご相談ください。

また、地域には同じ悩みをもつお母さん方の集まる「親の会」があります（第２章　親の会を参照）。当事者ならではの生活に密着したアドバイスが聞けたり、体験談を聞くことによって安心できたり勇気が持てたり、ご両親にとって心強い出会いの場になっていますので、積極的に参加してほしいと思います。

（西口　久代）

～我が子の乳幼児期を振り返って～

息子は、自閉的傾向のある知的障害児です。出生時は何の問題もなく、発育も１歳半ごろまではごく普通でした。言葉も遅めではありましたが「マンマ」「ブーブー」「ワンワン」など発語していましたので、母子手帳の記録には「言葉が遅いかも？」と書いているだけで、私自身あまり不安を感じていませんでした。１歳６ヶ月健診でも、「(言葉が遅いのは) 男の子だからかな～？」程度のアドバイスでしたし、他の子供さんとの違いも特に感じませんでした。しかし１歳８ヶ月ごろから、出ていたはずの言葉を言わなくなり、名前を呼んでも振り向かなくなりました。義理の姉が「この子、目が合わないね。」と言った一言がひっかかり、本を開いて飛び込んできたのが「自閉症」という言葉でした。段々言葉が減っていって、２歳のころには「アッコ（抱っこ)」しか言わなくなっていました。母子手帳の『２歳のころ』のページにも「いいえ」の答えが目立ちました。この状況を誰に相談したらいいのか分からずにいたとき、保健師さんに様子を見に来てもらうことになりました。保健師さんから「お子さんがもっと家族、特にお母さんに関心を持ち、甘えたくなるような接し方をしてみてください。」とアドバイスされ、保健所の親子教室を紹介されました。近寄れば顔をそむける我が子にこれ以上どう近づけばいいのかと、私は非常に戸惑った記憶があります。

親子教室では保健師さんや、教室へ指導に来られていた保育士の先生と、散歩に出かけたりシャボン玉遊びをしたりしました。でも、全く遊びにのってこない『他の子供と明らかに違う我が子』に、私は何をどうすればいいのか途方にくれてしまいました。そして相談の結果、障害児の通園施設へ外来で通うことを勧められました。ショックでしたが、これが息子の療育をスタートさせるきっかけとなりました。

通園施設に通いながら、３歳になろうとする直前に障害の認定を受けました。このころにはすっかり私の肝もすわっていました。３歳児健診時には、家庭で行う視力や聴力のテストが出来ない子であることを正直に保健師さんに伝えました。保健師さんは、私がしかるべき施設にすでに通っていることに安心されたのか、息子が年相応に出来ない事柄に関して深く追求しませんでした。そして「子供さんのペースを大事にしてあげてください。」とアドバイスくださいました。またその後、親子教室を勧めてくださった保健師さんから何回か電話があり、息子の経過を見に来ていただきました。



今、息子は小学生。手を焼くことも多いですが、私が遅れると振り向いて待っていてくれるやさしい子になりました。育児に迷ったら、まず地域の保健所の保健師さんにお話してみてください。子どものために何かを始めるきっかけが、必ずそこに待っていると私は思います。

(小学生男児の母)

診断

１．診断について

近年、自閉症に関しての研究や理解が進んでいくと共に、知的障害の重い方が診断を受けることがほとんどであった以前と比べ、知的障害のない、さらには学業などが優秀な方々まで、幅広く診断を受けるようになってきました。また、自閉症と診断を受けても、成長によって診断基準をはっきり満たしにくくなる方もおり、「広汎性発達障害」あるいは「自閉症スペクトラム」といった幅広いとらえかたもするようになってきています。

現在使われる診断基準は、主にDSM-IV（米国精神医学会の診断基準)、ICD-10（国際疾病分類）の２つが使われています。２つは、細かい点で違いはあるものの、大きな違いはありません。お互い、広汎性発達障害というカテゴリーの中に自閉性障害（自閉症)、アスペルガー障害、特定不能の広汎性発達障害（非定型自閉症など）といった診断名が含まれています。

まずは、広汎性発達障害の中で代表的な自閉性障害の診断基準について説明します。大きく３つの項目があり、①対人的相互反応における質的な障害　②コミュニケーションの質的な障害　③行動、興味、および活動の限定された反復的で常同的な様式、それぞれを満たす必要があります。①②③には、それぞれ⒜～⒟と４つずつ項目がありますので、１つずつ見ていきましょう。　注：かっこ内は筆者の補足です。

①対人的相互反応における質的な障害

⒜目と目で見つめあう、顔の表情、体の姿勢、身振りなど、対人的相互反応を調節する多彩な非言語的行動の使用の著明な障害（視線が合いにくい。あやしても笑いにくい。抱っこしても反り返る。バイバイやこっちおいでなどのジェスチャーが生じにくい。など)

⒝発達の水準に相応した仲間関係を作ることの失敗（一人遊びが好き。社会性が育ちにくい。友人を作る意欲や能力に難がある。など)

⒞楽しみ、興味、達成感を他人と分かち合うことを自発的に求めることの欠如（手がかからずおとなしい。抱かれようとしない。興味のあるものを見せる、持って来る、指差すことなどが生じにくい。など)

⒟対人的、または情緒的相互性の欠如（人見知りが見られない。母の後追いがなかった。呼びかけても振り向きにくい。イナイイナイバーをしても反応が返らない。よく迷子になる。うれしいことなど、他人と分かち合うことが難しい。など)

②コミュニケーションの質的な障害

⒜話し言葉の発達の遅れまたは完全な欠如（身振りや物まねのような代わりの意思伝達の仕方により補おうとする努力を伴わない。抽象的な表現が苦手。オウム返しが多い。など)

⒝十分会話の有る者では、他人と会話を開始し継続する能力の著明な障害（自分の事だけしゃべって他人の話を聞きにくい。自分でもわかっている質問を繰り返しする。など)

⒞常同的で反復的な言語の使用または独特な言語（いつも同じ言葉を繰り返すのが目立つ。文法や助詞の使い方、発音がおかしい。など)

⒟発達水準に相応した、変化に富んだ自発的なごっこ遊びや社会性を持った物まね遊びの欠如（形式的な遊びが多く、イメージに富んだ遊びが乏しい。)

③行動、興味、および活動の限定された反復的で常同的な様式

⒜強度または対象において異常なほど、常同的で限定された型の、１つまたはいくつかの興味だけに熱中すること（おもちゃの車を一列に並べ、横目や極端に近づいて見る。物をまわす。人とのやり取りより、文字やマークに興味を示す。など、特定のものにこだわる。)

⒝特定の、機能的でない習慣や儀式にかたくなにこだわるのが明らかである。(道順にこだわる。寝るときにお決まりのことをしないと寝ない。ものが同じ場所にないと怒る。など)

⒞常同的で反復的な衒奇的運動（例えば、手や指をぱたぱたさせたりねじ曲げる、または複雑な全身の動き。)

⒟物体の一部に持続的に熱中する（車のマークやタイヤばかり見る。換気扇や光の点滅をじっと見つめる。水道

から流れる水を見続ける。など)

この①から２つ以上、②,③から１つ以上選択され、①,②,③の少なくとも１つが３歳以前に始まっていれば、自閉性障害と診断するということになっています。

また、アスペルガー障害に関しては、①から２つ以上、③から１つ以上で、言語あるいは認知的発達において臨床的に明らかな全般的な遅れがみられないこととなっています。

そして、特定不能の広汎性発達障害は、①,②,③のいずれかを満たすが、自閉性障害やアスペルガー障害の基準を満たさない場合となっています。

現在のところ、診断の幅は診断する医師によって多少の違いがあります。また、自閉性障害か特定不能の広汎性発達障害か、または、広汎性発達障害か広汎性発達障害に当てはまらないか、など、見方によってはどちらともとれるという場合もあります。ですから、微妙なところにいらっしゃる方は、診断名を使うことで有利に働くことがあれば、時と場合に応じて利用されるのも一つのやり方（例えば、診断名があることで、丁寧なかかわりをしてもらえる、補助や加配の先生をつけてもらえる、周囲の方々に理解してもらいやすくする、施設を利用できる、など。）だと思います。

２．これから大きくなっていくうえで

広汎性発達障害の方々も、ひとつひとつ経験や理解を積み上げていくことで、それぞれに応じた成長が必ず生じてきます。ただし、一般のお子さんと違って、例えば、１を知れば10を知るといった応用が効きにくい分、ひとつひとつ、より丁寧なかかわりが必要になってきます。そのためにも、それぞれのご家族のペースで、お子さんや広汎性発達障害の理解を進めることを続けていただきたいと思います。

また、広汎性発達障害の方々も、人とのかかわりがないと寂しいし、人に認められるとうれしいといった気持ちが生まれます。しんどい時にはどうしてもマイナスの面ばかり見えてしまうこともあるかもしれませんが、いい面も見てあげる、何かができたらほめてあげる、そして、人との基本的信頼感や愛着を育ててあげる。そういったことで、人への不安や抵抗をやわらげ、家庭、療育の場、園、学校などで、やりとりや興味などの広がりが生じやすいように支援してあげることが大切です。

(前田　宏章)



保育所（園）・幼稚園について

保　育　所　(園)
１、認可保育所(園)
認可保育所(園) には公立と私立があります。 児童福祉法に基づく児童福祉施設です。保護者が仕事・病気・看護等の理由で保育をできない場合に預かって保育をします。 ０歳から５歳児を対象にしていますが、園によって受け入れ可能年齢は異なります。 保育料は原則として前年度の所得税額と子どもの年齢等によって決定されます。
申し込み先：市町の担当課（公立)、各保育所(園)（私立)
２、無認可保育所(園)
児童福祉法等の基準を満たさない保育所(園)のことです。 入園条件・保育時間・保育料金等は園で独自に決められています。
申し込み先：各保育所(園)

※園によっては、園庭開放や入園前の教室、子育て相談、一時保育などを行っています。
　直接園にお問い合わせ下さい。
※入園の手続きは市町によって時期・必要書類等が異なります。担当課にお問い合わせの上、ご確認下さい。

幼　　稚　　園
１、公立幼稚園
市町教育委員会が運営するものです。多くの市町が主に４・５歳児を対象にしていますが、園により受け入れ可能年齢は異なります。
申し込み先：市町教育委員会の担当課
２、私立幼稚園
主に学校法人が設置運営するものです。
申し込み先：各私立幼稚園

※入園の手続きは市町によって時期・必要書類等が異なります。担当課にお問い合わせの上、ご確認下さい。
※市町によっては発達などの特別なニーズに応じるための特別支援ルームを実施している所があります。担当課にお問い合わせ下さい。



知的障害児通園施設について

自閉症のお子さんだけに対象を限定していませんが、障害をもった子どもの育ちをトータルな視野で見て保育を行っています。全面的な発達を促し、食事、排泄、衣服の着脱など基本的な生活習慣の自立を図りながら、身体を使っての楽しいあそび、季節に即した行事に取り組んでいます。

施　設　名	郵便番号・所在地	定員	電話番号
ひまわり学園	〒657－0011　神戸市灘区鶴甲２－15－１	30	078－821－3400
丸　山　学　園	〒653－0875　神戸市長田区丸山町２－３－50	60	078－646－5293
あけぼの学園	〒653－0875　神戸市長田区丸山町２－３－50	50	078－646－5295
のばら学園	〒655－0014　神戸市垂水区大町５－４－25	60	078－708－0575
つくし児童園	〒670－0806　姫路市増位新町２－37	40	0792－88－2501
北　山　学　園	〒662－0001　西宮市甲山町53	30	0798－71－8027
あこや学園	〒663－8001　西宮市田近野町８－１	50	0798－51－7345
つつじ学園	〒664－0029　伊丹市中野北２－11－28	30	072－781－0774
やまびこ学園	〒665－0822　宝塚市安倉中３－２－２	30	0797－86－7130
高砂児童学園	〒676－0824　高砂市阿弥陀町南池516	30	0794－47－1167
川西さくら園	〒666－0014　川西市小戸３－12－10	30	072－755－1772
かるがも園	〒669－1356　三田市井ノ草808	30	079－568－1626

※入園前の見学、相談、親子教室をしている園もあります。詳しくは各園へお問い合わせ下さい。

就学に関する手続きと指導

障害のある子どもが就学する学校には、義務教育段階では、小学校、中学校、盲・聾・養護学校小・中学部があります。このうちいずれの学校に、どのように就学するかは、法令等によって定められており、居住地（住民票のある）の市町村及び都道府県の教育委員会は、障害のある子どもの実態に即して、適正な就学指導を行う役割を担っています。就学に関する手続き等は、次の通りです。

１．障害の程度と教育措置（就学指導の根拠となる法令及び通知）

（１）「学校教育法施行令第22条の３」（盲者等の心身の故障の程度）

盲学校、聾学校又は養護学校に就学させるべき盲者、聾者又は知的障害者、肢体不自由者若しくは病弱者の心身の故障の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

区分	心　身　の　故　障　の　程　度
盲者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聾者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	１．知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの ２．知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	１．肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２．肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	１．慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２．身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

備　考

一　視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によつて測定する。

二　聴力の測定は、日本工業規格によるオージオメータによる。

（２）「障害のある児童生徒の就学について」　14文科初第291号通知

盲・聾・養護学校への就学、特殊学級（障害児学級）への就学、通級による指導の適当なものの基準と就学先を決定する際の留意事項を示しています。また、盲・聾・養護学校への就学が適当なもののうち、市町村の小・中学校に就学することが可能とする「認定就学者」についても言及され、就学指導委員会の設置とその役割についても述べられています。

２　就学指導の体制と手続き

（１）市町村就学指導委員会

障害のある子どもの教育措置（就学指導）については、教育学、医学、心理学等の観点から専門家の意見を聞

いた上で総合的かつ慎重に判断することが求められます。そこで、障害のある子どもの状態に応じた学校あるいは学級を決定するための就学指導体制の一環として、「障害のある児童生徒の就学について」(14文科初第291号通知）に基づき、都道府県及び市町村の教育委員会において、専門家の意見を聞き、適正な就学指導を行うための機関として、就学指導委員会を設置することになっています。

(２)就学の手続き

学齢に達した障害のある子どもの就学の手続きの概要は、次のとおりです。

① 学齢簿の作成・・・学校教育法施行令第２条・学校教育法施行規則第31条
② 就学時の健康診断の実施・・・学校保健法施行令第１条
③ 盲者等の通知・・・学校教育法施行令第11条
④ 就学通知・・・学校教育法第23条及び第39条

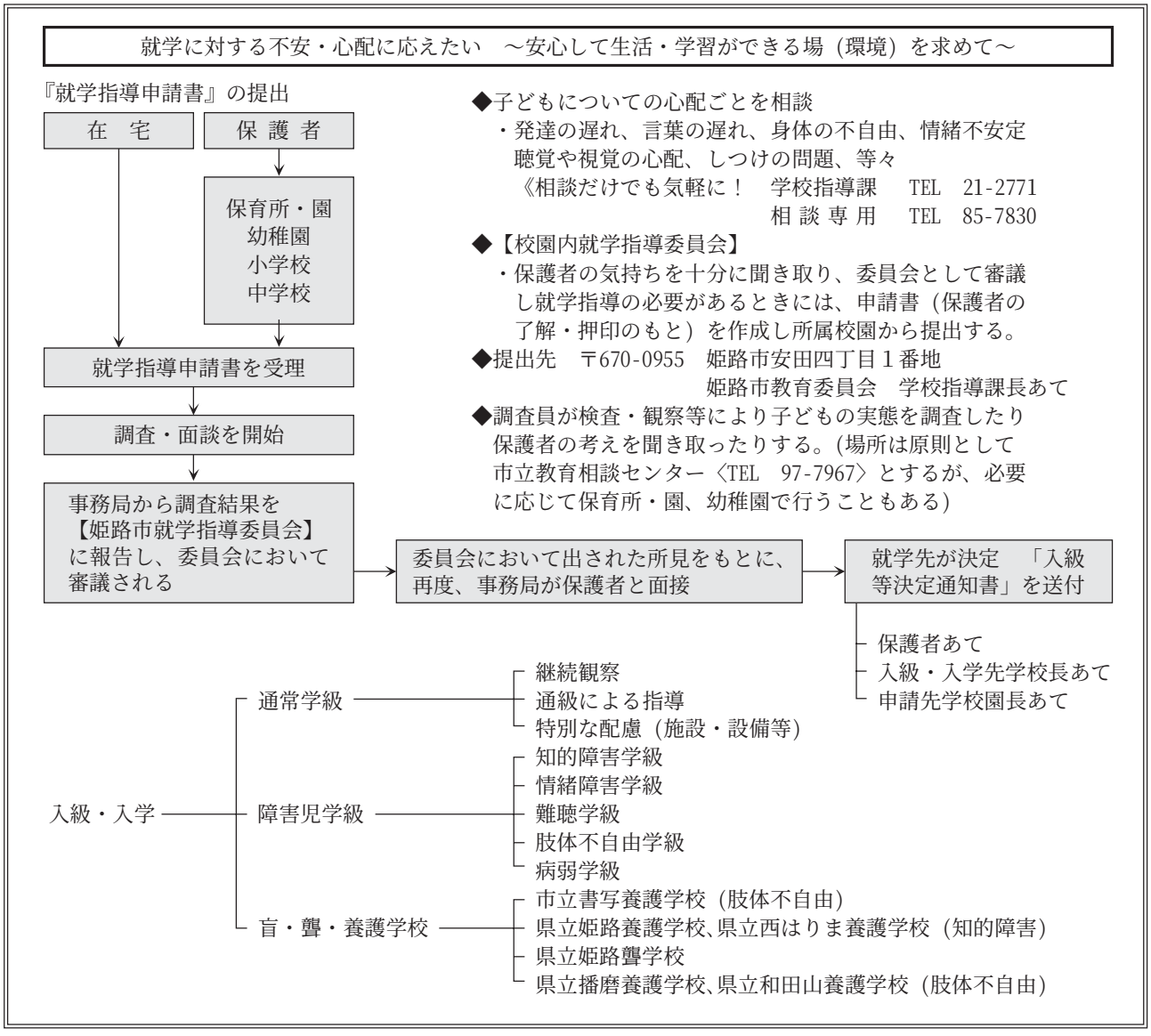
(３)就学猶予・免除

学校教育法第２３条及び第３９条

３　就学相談の方法

就学指導の手順について　〈姫路市の場合〉

※各市町によってシステムが異なりますので、各市町の教育委員会にお問い合わせ下さい。



就学を控えた子どもをもつ お父さん・お母さんへのメッセージ

就学を控えると、「学校」という具体的なイメージがお父さん・お母さんの中にもわき上がってきて、「何から手をつけようか」「あれができてない」「これをしておかないと」など目の前のことで頭がいっぱいになられるかもしれません。それほど就学というものは親子にとって大きな節目ですね。保育園・幼稚園・通園施設の時期とは異なり「学習」「仲間との交わり」というものもテーマになってくるからでしょう。

幼児期のまとめを

幼児期は生活全般について「しっかり寝る、食べる、出す（排泄する）」という習慣をつけることがテーマのひとつです。就学を控えて、これらのことを今一度見直し、集大成してみてはいかがでしょうか？

睡眠リズムはどうでしょうか？朝しっかり目覚めて朝食をとり、元気に登校していくことができるでしょうか？朝からエネルギーを蓄えていなければ、机に向かうことから難しく、ちょっとしたことでイライラして友だち・先生とのトラブルを生じてしまいます。排泄の自立はどの程度できていますか？便秘はないですか、尿を一定時間溜めることはどうでしょうか、トイレに行きたい時のサインを人に伝える手段は、そして学校のトイレは使えるでしょうか？ごはんはしっかりお腹をすかせて食べていますか、食事の偏りがある場合に何か取り組めることは、そしておはしなどの使い方はどうでしょうか？

それらを見直しながら、学校生活に必要なことを担任の先生に伝えられるように準備しておくとよいでしょう。尚、巻末にサポートブックの作り方を記載しています。参考にして下さい。

自信を大きくふくらませる

一方、関わる上で気をつけたいことがあります。この時期、周りの大人は何かを身につけさせたいと思うがあまり、子どもの様子を見ずに性急になってしまうことがあります。子どもは追い立てられるように何かをさせられるとますますできなくなってしまいます。就学前の子ども達は自分の内面から伸び上がってくる力、「自発性」を強く感じています。もっと大きくなりたい気持ちを大切にしながら、自分でできる「自信」をつけていく必要があります。そのためには、子どもの気持ちに寄り添いながら心をこめて「褒めて」あげて下さい。それは、時に私たちが青年期の方々の相談を受けたときに「自信」というものを失っている現実に対面するからです。この時期に何よりも子ども達の自信を大きくふくらませたいものです。

家庭での役割を

次に、家庭は多くの社会性を学ぶ場です。子どもに家族の一員としての役割があるでしょうか？その役割のひとつに「家事」に取り組むことが考えられます。「お手伝い」という時期を経て、今後は子どもに任せていける「家事」を考えてみましょう。

買い物、食器並べ、炊事、洗濯、洗濯物の取り入れ、部屋の掃除、風呂掃除、窓ふき、洗車…。まずは、これらから何かひとつでも親子で取り組んでみませんか。家事を通して親子の関わりを、そして人との関わりを学んでいく機会になります。つまり、家での生活の中で家族の一員として学ぶことの中で集団行動を身につけていくことにつながります。但し、褒めながら導いていきましょう。「ありがとう」「助かるわ」などの言葉と気持ちをそえて。

自立に向けて

自立とは「自分で考え、自分で行動を選択し、決定すること」と言われています。しかし、何かをできるようにするだけでなく、その喜びを味わえるように導いていきたいものです。取り組んでいくひとつひとつが容易ではありませんが、子どもの取り組むときの真剣なまなざしと「やったー」というときの表情は実に誇らしげです。子ども達の成長を感じ、自立に向かう一歩を進めたのだと感じる瞬間です。一方、関わる側は如何に距離をとるかが大切です。できるようになるにつれて距離をとる、そして最後の所は子どもが自分でできるように。それが自分で「決定する」ことにつながるのです。

さまざまな経験を通して子ども達は家族の一員として家での生活を充実させ、また「集団行動」を身につけていきます。それらを基盤にして将来的に親からの精神的自立をしていく機会を得るのかもしれません。いつか親元を離れていくことを準備していくために。就学という節目にあたり子どもの「自立」に向けてお父さん、お母さんがどのように進めていくのかを考える機会にしていただけたらと思います。

お父さん、お母さんへ

多くのお父さん、お母さんが「幼児期が最も大変だった」「一生懸命で振り返っても思い出せない」とおっしゃいます。それほど日々の生活に追われる時期かもしれません。

これまでの子育てを振り返りながらも一息をついてまた新しい一歩を踏み出してほしいと願います。そして新たな出会いをどうぞ大切にして下さい。子どもさんを取り巻く輪をますます大きくしていきたいものです。

最後に、ここまで育ててこられたお父さん、お母さんに心からエールを送りたいと思います。

(橋本　美恵)



学校教育について知っておくこと

学校教育は今大きな変革期にあります。特別支援教育という新しい枠組みは、学習障害、ＡＤ／ＨＤ、高機能自閉症などをもつ子どもたちについて通常の学級において特別な支援を受けることができるということを示しています。

教育は学校や先生たちだけが行うものではありません。ひとりひとりの子どもにあった教育内容や指導方法は、家庭と学校とがともに情報交換し、共通理解し、意見交換していく中で初めて効果を発揮します。ここでは学校教育について保護者が知っておくことについて考えてみたいと思います。

就学・どの場で学ぶか

現時点では就学の進路は大まかに、小学校通常学級、小学校通常学級＋通級指導教室、特殊学級、養護学校に分かれます。進路については、まず保護者は就学先の情報を集めることになりますが、必ず自分の目で見に行くということです。見学は学校に電話をすれば教頭先生が対応してくださるところが多いようです。最終的には家族の中で話し合いをして決めていくのですから、ご両親や複数で見学に行かれるのがよいと思います。近くの学校であれば園の先生にも一緒に行ってもらい就学前の課題を一緒に考えていってもらうのもよいでしょう。噂だけで判断しないでしっかり自分の目で確認しましょう。また見学は、自分の子どもがその授業や集団に入った場合、どんな形で入れるかイメージするようにしましょう。担任の先生だけでなく校長先生、教頭先生とも話をしましょう。学校側の特別なニーズを持つ子どもたちに対する考え方を知っておく機会になります。自分の子どもの現在の状態や教育的ニーズをできるだけ具体的に伝えましょう。

具体的に伝えていくために私がお勧めする方法は表のような「発達支援ニーズリスト」を作ってもらうことです。園の先生たちに協力してもらい、朝の登園から降園までの間にどのような支援が必要か、現時点の様子をリストアップしていきます。保護者の方が一日付き合って記録すれば作成できるはずです。これによって、保護者と園の先生が現時点でのお子さんの発達や必要な支援について共通理解を得ることもできます。

最終的な進路決定は当事者の判断です。専門家といえども子どもの未来がわかるわけではありません。子どもだけをみても受け入れ側の学校の体制までつかめないと判断できません。ですから、ぜひ実際にご自分の目で見てベターな選択だと思えるものを考えていきましょう。専門家の意見はあくまで参考です。様々な意見をふまえて家族の中で話し合ってみてください。上の学年にきょうだいがいれば、是非いろいろな話をしてみてください。お互いに理解を深めることがよりよい判断につながるはずです。どんな子どもも成長し、発達する存在です。進路決定し、就学したとしても、毎年その子にあった見直しをしていきましょう。柔軟性を持たせておくことは必要なことです。

表１　　発達支援ニーズリストの例

時　間	活　動	支　援　内　容
８：00	登　　園	連絡帳を出すように個別の声かけが必要。 出さずに園庭に出てしまう。
８：30	自由遊び	滑り台の上から一輪車を落とす遊びにこだわっているので、開始する前に別な遊びに誘う。
随　時	トイレ	水遊びを始めて帰ってこないときがあるが事前に約束をすればＯＫ。
		⋮

学校に入ったら

・個別の指導計画、個別の教育支援計画

養護学校、特殊学級に在籍しているお子さんの場合には、担任の先生や校内委員会は、保護者と連携しながら「個別の指導計画」をつくることが義務づけられています（通常学級在籍の場合も作成が推奨されています)。個別の指導計画には子どもの指導目標を具体的に示し、どのように指導するかとその評価方法が記されています。書式は学校や担任の先生によって様々です。積極的に見せてもらえる場合もありますが言わないと見せてもらえない学校もあるようです。ぜひ見せてもらい家庭と学校での指導目標を共通理解し、共通化するようにしましょう。個別の指導計画を基に指導して欲しいことも一緒に考えていくようにしましょう。

個別の教育支援計画は、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した長期的な計画を策定しようとするものです。こちらはまだ作成しているところは少ないですが、平成19年までにはすべて策定していくようになる予定です。

・特別支援教育コーディネーター

平成19年度までにはすべての小・中・養護学校に特別支援教育コーディネーターがおかれます。これは校内の先生のどなたかが行う役割です。校内の関係者や医療，福祉等の関係機関との連絡調整，保護者との関係づくりを行うものです。担任の先生と同様いろいろな相談にのって頂けるはずです。 スクールカウンセラーが入っている学校もあります。これは外部の臨床心理に関する専門家が週に何日か来校し勤務するものです。保護者からの相談も受け付けてもらえますが自閉症に対する専門性は個人差があります。

・校内委員会

兵庫県ではすでにほとんどの小・中・養護学校で校内委員会が作られています。校内委員会では一人一人の子どもの指導や支援のあり方について話し合われます。場合によっては保護者が参加した方が良い場合もあります。専門家を交えて行うこともできます。

・教育委員会

教育委員会の中にも相談できる部門があります。各市町によって異なりますから事前に調べておきましょう。また県の教育委員会は巡回教育相談を行っていますし、市や町のレベルで行っているところもあります。

・養護学校

養護学校にも地域の教育相談に応じています。近くの養護学校に問い合わせてみましょう。

・親の会や NPO

親の会は様々な学習会や相談会を行ったり本人活動の場を提供したりしています。行政に働きかけていく場合も親の会は重要な役割を果たします。まずどこかの会に入会し、情報を集めていくのもよいでしょう。自分にあった会を選ぶのがコツです。NPO も子育てに関する様々なサービスを提供しています。

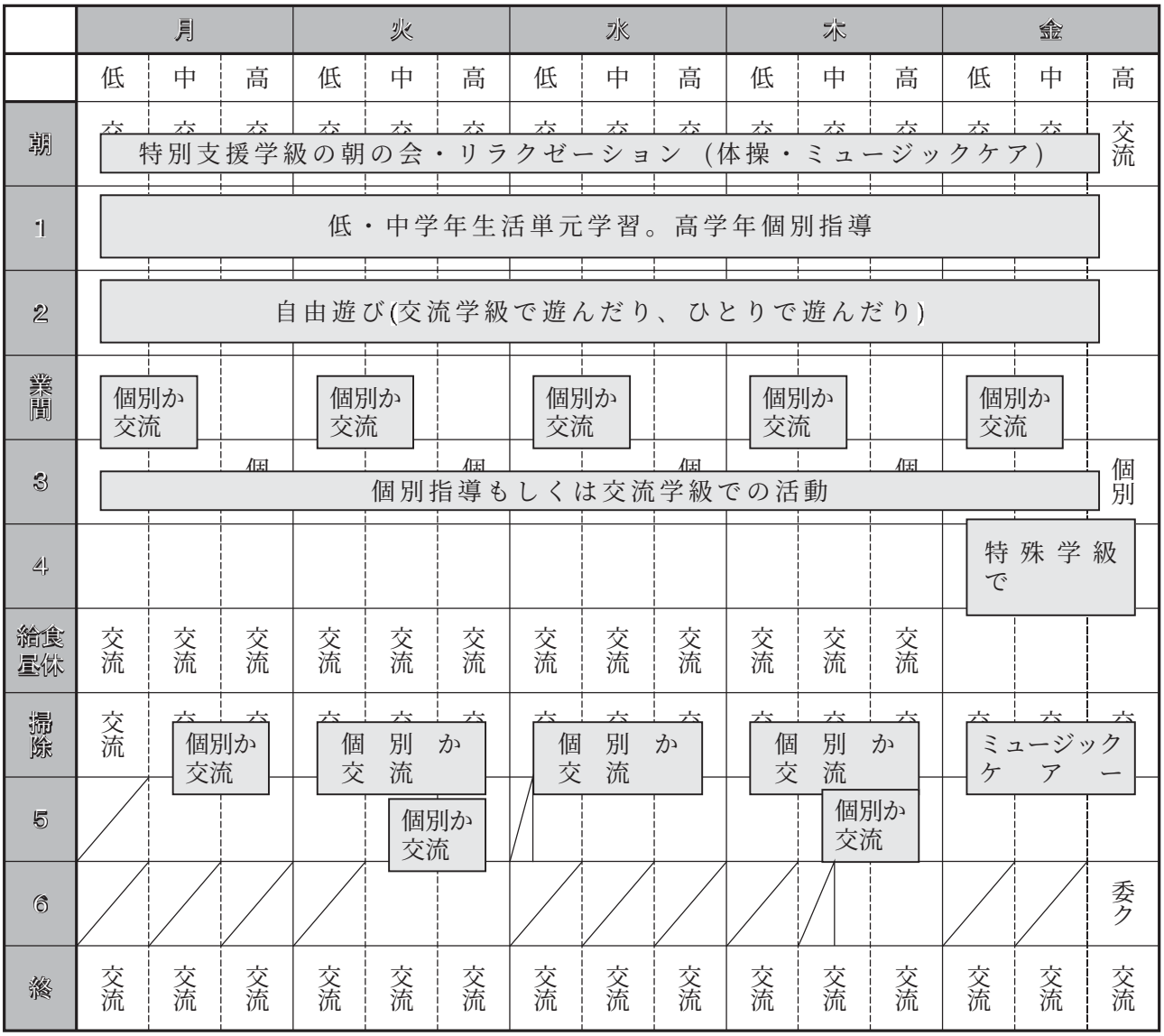
(井上　雅彦)



小学校の特殊学級での一日

ここでは小学校の特殊学級での一日を、ある学校を例に挙げて紹介します。ひとくちに１日と言っても、小学校では低学年(１・２年)・中学年(３・４年)・高学年(５・６年)で時間割の内容が違うところもあり、特に下校時刻の違いや専科の授業の有無など、学年が変わるとその様子も変わってきます。

そこで、まずは一週間の活動内容を見てみましょう。



＊交流と書いてあるのは、交流学級での活動です。

＊交流学級での教科は、ひとりひとり違ってきます。

＊「朝」は朝の会までの活動時間・朝の会。「終」は終わりの会。

このように、交流学級での学習と特別支援学級での学習と個別での学習とを組み合わせて、そのお子さんに合った時間割を編成していきます。それでは、学校での生活を細かくみていきましょう。

１）登校

集団登校で友だちと一緒に登校する子どもやご家族の付き添いで登校する子どもなど、その子どもに合わせて登校スタイルを決めていきます。

直接交流学級へ行き、荷物を置きます。また、登校する時間もそのお子さんに合わせて、ゆっくり遊ぶ時間が持てるように登校したり、朝の活動ぎりぎりに合わせて登校したりもします。

２）朝の会

交流学級で行います。日番などの役割を果たした後､特殊学級に集まってひとりひとりの健康観察や予定の確認、日記や連絡帳の披露等をします。

３）交流の時間

交流の時間は交流学級や学年での活動になります。その教科については、その子どもの実態に合わせて決めていきます。低学年では、生活・図工・音楽・体育・学活。中学年では、総合・図工・音楽・体育・学活。高学年では、総合・図工・音楽・家庭・体育・学活などがよく交流の教科となります。もちろん、それ以外の理科や社会などもなることがあります。１人で活動することが難しい場合は、教師も一緒に活動します。

４）個別指導の時間

個別指導では、基本的に子どもと教師が１対１で学習をします。教科については、国語・算数などを行います。１時間の中でする課題は、ひとりひとりに合わせた課題を担当の教師が考え、教材を探したり、作成したりもします。

内容としては、マッチングやなぞり書き、発声の練習、数を数えたり、お金の学習をしたり、そのお子さんに合わせた学習をします。

５）休み時間

休み時間は、基本的に自分の遊びたい所で遊びたいようにして遊びます。遊びを広げるために、いろいろな遊びに誘うこともあります。

６）給食

給食は交流学級で食べます。給食当番なども一緒にします。

７）終わりの会・下校

終わりの会は交流学級で行い、朝の会同様、日番などの役割を果たします。下校は、あいさつをした後、友だちと一緒にそのまま下校したり、途中まで友だちと帰って途中からは保護者も一緒に帰ったり、学校に保護者が迎えに来たりします。

＊その他

連絡帳などを使い、一日の様子をお知らせしたり、出会ったときにお話したりすることで連携をとりながら、日々活動ができるようにしています。

(坂本　勝彦)



盲・聾・養護学校

(平成17年３月現在)

各盲・聾・養護学校では、０歳から教育相談を行っています。

〈相談を希望する方は〉	・各学校の教育相談の担当者と日時を相談して下さい。 ・相談は無料です ・保育所、幼稚園、学校などで、保育や教育などに関わる関係機関からの相談にも応じています。 ・各盲・聾学校でも発達障害についての相談に応じています。

【兵庫県内　盲・聾養護学校一覧】

施　設　名	郵便番号・所在地	電 話 番 号
兵庫県立神戸養護学校	〒651－1144　神戸市北区大脇台10－１	078－592－6767
兵庫県立阪神養護学校	〒663－8001　西宮市田近野町11－７	0798－52－6868
兵庫県立こやの里養護学校	〒664－0017　伊丹市瑞ケ丘２－３－２	0727－77－6300
兵庫県立高等養護学校	〒669－1515　三田市大原梅の木1546－６	0795－63－0689
兵庫県立氷上養護学校	〒669－4274　氷上郡春日町棚原字睦塚98－１	0795－75－1737
兵庫県立北はりま養護学校	〒669－1112　多可郡中町間子字向田602－１	0795－32－3672
兵庫県立いなみ野養護学校	〒675－1114　加古郡稲美町国安1284－１	0794－92－6161
兵庫県立姫路養護学校	〒671－0247　姫路市四郷町東阿保字下戸明476－１	0792－85－3765
兵庫県立赤穂養護学校	〒678－0252　赤穂市大津1305	0791－43－9266
兵庫県立出石養護学校	〒668－0204　出石郡出石町宮内２－８	0796－52－3565
兵庫県立淡路養護学校	〒656－1337　津名郡五色町下堺1062－２	0799－35－0204
神戸市立青陽東養護学校	〒657－0846　神戸市灘区岩屋北町６－１－１	078－871－1800
神戸市立青陽西養護学校	〒655－0049　神戸市垂水区狩口台３－１－３	078－781－1543
神戸市立青陽高等養護学校	〒654－0155　神戸市須磨区西落合１－１－４	078－793－1006
小野市立小野養護学校	〒675－1359　小野市昭和町458－１	0794－66－2571
三木市立三木養護学校	〒673－0521　三木市志染町青山７－１－８	0794－84－0830
加西市立加西養護学校	〒675－2213　加西市西笠原町172－50	0790－48－2304

施　設　名	郵便番号・所在地	電話番号
国立神戸大学附属養護学校	〒674－0051　明石市大久保町大窪2752－４	078－936－5683
兵庫県立のじぎく養護学校	〒651－2215　神戸市西区北山台2－556－134	078－994－0196
兵庫県立播磨養護学校	〒679－4002　龍野市揖西町中垣内字奥池乙1352	0791－66－0091
兵庫県立和田山養護学校	〒669－5252　朝来郡和田山町竹田字雀田1987－１	0796－74－0214
神戸市立友生養護学校	〒658－0052　神戸市東灘区住吉東町４－１－58	078－851－0630
神戸市立垂水養護学校	〒655－0033　神戸市垂水区旭が丘２－１－15	078－709－7555
尼崎市立尼崎養護学校	〒663－8001　西宮市田近野町10－45	0798－52－0182
西宮市立西宮養護学校	〒663－8161　西宮市甲子園春風町２－29	0798－34－6551
伊丹市立伊丹養護学校	〒664－0006　伊丹市鴻池字車場８	0727－83－5436
宝塚市立養護学校	〒665－0822　宝塚市安倉中６－１－３	0797－84－0953
川西市立川西養護学校	〒666－0143　川西市清和台西２－３－81	0727－99－1456
明石市立明石養護学校	〒674－0051　明石市大久保町大窪2752－１	078－936－7288
加古川市立加古川養護学校	〒675－1214　加古川市上荘町見土呂34－１	0794－28－2645
姫路市立書写養護学校	〒671－2203　姫路市書写台３－151	0792－66－0028
篠山市立篠山養護学校	〒669－2300　篠山市沢田120－１	0795－52－5237
兵庫県立上野ケ原養護学校	〒669－1515　三田市大原梅の木1546－６	0795－63－3434
兵庫県立盲学校	〒655－0884　神戸市垂水区城が山４－２－１	078－751－3291
兵庫県立淡路盲学校	〒656－0053　洲本市上物部２－１－17	0799－22－1766
神戸市立盲学校	〒650－0044　神戸市中央区東川崎町１－４－２	078－360－1133
兵庫県立神戸聾学校	〒655－0013　神戸市垂水区福田１－３－１	078－709－9301
兵庫県立姫路聾学校	〒670－0012　姫路市本町68	0792－84－0331
兵庫県立豊岡聾学校	〒668－0047　豊岡市三坂町２－９	0796－22－2114
兵庫県立淡路聾学校	〒656－0053　洲本市上物部２－１－17	0799－22－1766
兵庫県立こばと聾学校	〒663－8001　西宮市田近野町８－８	0798－53－5061

養護学校の一日

１．登校の様子～朝の始まり

「おはようございまーす！」朝８：30、校門から元気のよい声が聞こえてきます。自力通学を行う中学部、高等部の生徒が登校してきました。彼らは電車やバスを乗り継いで登校します。しばらくすると、スクールバスが次々に校門から入って来ます。生徒の多くがスクールバスで通学しています。バスの乗降口では担任の先生が、子どもたちが降りてくるのを待っています。

小学部の子どもたちにとっては、バスから降りた瞬間から学校での勉強が始まります。担任の先生とあいさつしたり、玄関で靴を履き替えたりということが学習課題となっている子もいます。「自分の教室まで一人で行く」ことにチャレンジしている子もいます。

教室に入ると、自分の荷物の整理をしてから体操服に着替えます。着替えが済むと、朝の会が始まるまで自由に遊びます。ブランコや自転車に乗って遊ぶ子もいれば、写真カードで、「砂場に行きたい」、「トランポリンで遊びたい」と先生に伝えている子もいます。このように、小学部ではゆったりとした雰囲気で一日が始まります。中学部、高等部では、この時間帯に「朝の運動」としてランニングや体操を行います。

朝の会では、出席をとったり、その日の時間割や予定を確認したり、クラスのみんなで歌遊びや手遊びをしたりします。時間割は、授業ごとに１枚１枚のカードになっていて、文字だけではなく写真や絵が添えられています。それを順番に並べていくのです。

２．小学部の学習

ここで小学部の学習についてみてみましょう。まず、国語や算数の基礎的な学習があります。色や形、事物の名称などの課題に取り組む子、書字や計算に取り組む子まで、それぞれの力に合わせて課題が設定されています。話す、聞くという内容に関しては、身体を大きく動かしたごっこ遊びの中で取り組むこともあります。その際、いろいろなお話をもとにした設定や、生活の中にあるような設定（例えば「買い物をしよう」「電車に乗ろう」）で活動を行います。音楽、図工、体育といった学習についても、子どもたちが楽しく取り組めるように遊びの要素を多く含んだ活動が多いです。この他に、小学部みんなで集まってゲームをしたり、季節の行事をしたりして遊ぶ集会の時間もあります。

午前中の学習が終わると、子どもたちが楽しみにしているのは給食です。ここでも自分で給食の用意をしたり、クラスのワゴンを運んできたり、牛乳を配ったり、配膳したりという一つ一つのことが大切な学習となっています。また、ただ食事するというだけではなく、好きな食べ物を「おかわりちょうだい！」、苦手な食べ物を「減らしてよ！」と伝えたり、「もうちょっとだけ食べてみようよ」と先生から提案されたりと、いろいろなやりとりができる場面でもあります。

昼休みに自由に遊んだ後、昼からの学習があります。そして、学習が終わると着替えをして、終わりの会をした後、バスに乗って帰ります。小学部の子どもたちは早く帰る日もありますが、３時すぎにバスに乗る日が多いです。

養護学校の小学部では、教科の指導とともに、衣服の着脱、食事、排泄など身の回りのことに関するスキルを身につける、いわゆる「日常生活の指導」が、大きな位置を占めています。これらは生活全般を通して取り組まれます。また、他にもコミュニケーションや行動上の課題など、それぞれの力や特性に応じた取り組みがなされています。

３．中学部、高等部の学習

中学部でも、一日の大きな流れは変わりませんが、学習内容の面で、「身の回り」から「社会生活」へと取り組む課題の重点が移っていきます。したがって、教科やコミュニケーションの指導の比重が大きくなります。それぞれの生徒の力や特性に応じて様々です。さらに、中学部では高等部での取り組みとも関連して、「作業学習」という内容があります。「作業」の種類は高等部よりも少ないことが多いようです。

高等部では、教科の学習に加えて、働く意欲を培い、卒業後の職業生活や社会自立を目指し、生活する力を高めることをねらいとして、作業学習に取り組む時間を設定しています。作業の例としては、木工、陶芸、農作業、さをり

織、手芸、紙工、食品加工などがあります。それぞれ班に分かれて、年間を通じて製品となるものを製作していきます。学校によっては、企業から材料を預かって、部品の仕分けや袋詰めなどの作業を行うところもあります。また、作業学習の一環として、実際に施設や企業に出かけていき、そこでの仕事を体験する現場体験実習も行われます。

<table>
<tr><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td></tr>
<tr><td colspan="5">着　替　え</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td rowspan="4">校外歩行
／
自立活動</td></tr>
<tr><td colspan="4">朝　の　会</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>学　級</td><td>からだ／自立活動</td><td>音　楽</td><td>からだ／自立活動</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>かず・ことば</td><td>つ　ど　い</td><td>かず・ことば</td><td>表　現</td></tr>
<tr><td colspan="5">給　食</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="3">ゆ　と　り</td><td rowspan="2">ゆ　と　り</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="3">ゆ　と　り</td></tr>
<tr><td>着替え･終わりの会</td><td rowspan="2">着替え･終わりの会</td></tr>
<tr><td rowspan="3">造　形</td><td rowspan="2">着替え･終わりの会</td><td rowspan="3">ゆ　と　り</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>着替え･終わりの会</td><td></td><td></td><td>自　立　活　動</td><td>学　部　活　動</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>着替え･終わりの会</td><td></td><td></td><td>着替え･終わりの会</td><td>着替え･終わりの会</td></tr>
</table>

A養護学校　小学部の時間割

4．交流学習について

養護学校の各学部では、交流学習としてそれぞれ近隣の小、中学校、高校の児童生徒とふれあい、共に過ごす時間を設定することが多いです。回数は、年に数回のところが多いようです。

また、小学部、中学部では、希望すればそれぞれの児童生徒が居住している地域の学校に行って、地域の子どもたちと一緒に活動する機会を設けることもできます。実施回数は学校によって様々です。

5．全般を通して

学校によって規模が違いますが、小学部では大体５～６人で１クラスとなり、３人くらいの教師で担当することが多いようです。中学部、高等部になると若干１クラスの人数が増えます。そして、１学年あたりの人数は、地域の学校を卒業後入学してくる生徒が増える中学部、高等部が小学部よりもずっと多くなります。

高等部は通常の学校と比べると人数は少なく、個に応じた指導を行える環境にあると思います。一人ひとりの子どもにとって必要なことを教えていくことが可能なのです。教師は複数でクラス担任をするので、お互いに意見交換ができ、家庭と学校も毎日やりとりができます。

養護学校において大切なのは、卒業後の生活をイメージして、どのような大人に本人がなりたいか、ご家族がなってほしいかを出し合いながら、学校や家庭において取り組むべきことは何かを絶えず吟味していくことです。

養護学校でも様々な行事が行なわれています。行事の様子や学習の様子は、各養護学校のホームページでも紹介されていますので、ぜひ一度ご覧になってみて下さい。

(福田　誠)

小学校の通常学級での一日

ここでは、通常学級に在籍している小学４年生の、ある高機能自閉症のお子さんの様子を例として通常学級での一日の過ごし方についてご紹介したいと思います。

４年１組　　時間割　B　　６月前半分

		月	火	水	木	金
8：00～	登校・朝休み	みんなと集団登校				
8：30～	朝の会・朝学習	朝会	読　書　・　計　算　など			
8：55～	1	国語	国語	音楽	国語	国語
9：45～	2	算数	国語-作	国語	社会	体育
10：30～	業間休み	応援の先生が入ります		みんな遊び		
10：50～	3	図工	算数	理科		
11：40～	4	図工	音楽	理科		
12：25～	給食準備・給食					
13：10～	昼休み	後半は個別授業				
13：35～	清掃	図書室で好きな本を読みます				
14：00～	5	社会	体育	算数	理科	総合
14：50～	6		学級会	(クラブ)	総合	総合
15：35～	終わりの会					
～16：10	下校	下校はいつも仲のよい友だちと二人で帰ります				

遊び係が先生と相談して考えた遊びをクラスみんなで遊びます

応援の先生が入ります

登　校：集団登校でみんなと一緒に並んで登校します。朝の調子がよくないときは、保護者が班の後ろについて来られることもあります。

朝の会：お知らせ係をしているので、朝、学校に来ると初めに先生のところに行き、今日の予定を聞きます。そして、学級の黒板に予定を書き、朝の会で報告するのが仕事です。一日の見通しが立つので、朝の時間も落ち着いて過ごせます。

授　業：基本的には、周りの子どもたちと同じように授業を受けます。先生が声かけをしてくれたり、そっと肩に手をおいたりして、毎回発表しないと気がすまない気持ちをおさめてくれます。総合的な学習の時間や作文の時間など、苦手な教科では、音楽の先生やコーディネーターの先生が一緒に学習をしてくれることがあります。

個別指導の時間：一週間に１時間だけですが、図工の時間の後半は別の教室で、特殊学級の先生と学習をしています。友だちとけんかになってしまう場面などについて、話をしたり、実際に寸劇をしたりするなどして対応の仕方を学びます。

休み時間：業間休みは友だちと遊びます。みんな遊びの時はルールを説明してもらえるので楽しく参加できます。昼休みは、図書室で好きな本を一人でゆっくり読むようにしています。

終わりの会：自分を振り返る時間があります。また、終わりの会の後には、先生と二人で、生活の約束について、振り返りをすることもあります。約束ができていたら、シールがもらえ、10枚集めると家で好きな活動ができるような取り組みをしています。

リラックススペース：教室の隅に、本箱で仕切った小さなスペースがあり、自由に本を読んだりできます。イライラしたときなどは、そこで気持ちを落ち着かせています。それでも無理な場合は、保健室に行ってもよいことになっています。

行事：初めての行事の前には、前年のビデオを見せてもらったり、リハーサルをしたり、くわしいプログラムをもらったりします。見通しができるので、最後まで参加できるようになりました。

このように、高機能自閉症やアスペルガー症候群の児童に対する取り組みは、学校によってさまざまです。いま、学校は、特別支援教育への移行の最中にあります。少しずつではありますが、個々の子どもたちへの対応が適切になされるようになってきています。子どもにとって必要なものを、学校と保護者が一緒になって、少しずつ作り上げているというのが現状です。



最後に、先輩お母さんからのアドバイスをご紹介したいと思います。

「私は、自分から進んで、いろいろな人と話をするようしてきました。担任の先生とは、連絡ノートをつくり、朝の様子など家のことを伝えるようにしました。先生からも、時々学校の様子を書いてくださることがありました。

また、学校に行ったときなどは担任の先生だけでなく教頭先生やコーディネーター役の先生、特殊学級を担当する先生、保健室の先生など、たくさんの先生に相談にのってもらいました。いろいろな人と情報交換をすることで、学校での様子がよく分かり、子どもが思い込みをしているときも、正してあげることができ、子どもの小さなサインに気づいてあげることもできました。

学年が上がり先生が変わったときにも、よく知っている先生が同じ学年におられたりして、スムーズにいきました。学年が上がったときには、担任の先生に子どものことを説明したプロフィールブックを渡して読んでもらいました。

ＰＴＡの会にもどんどん参加し、友だちを作りました。学級懇談会でも先生に助けてもらって子どもの話をしました。今では、子どものことを理解してくださる人が増え、けんかをして謝りに行っても、逆に励まされることもありました。特に、特殊学級のお母さんたちと話をするようになって、悩みごとを一人で抱えずに話せるようになりました。

もともと、外に出て話をするのは苦手で、初めは抵抗があったのですが、一緒になって喜んだり、心配してくれる人がたくさんできるようになり、今は、子どものおかげで自分もいい経験をさせてもらっているなあと考えられるようになりました。」

(吉田　裕彦)

養護学校における進路と現状について

１．　進路の現状〈姫路養護学校の場合〉

平成16年度の全校児童生徒数は現在324名です。内訳は小中学部121名（訪問教育５名)、高等部203名（訪問教育１名）です。居住地については４市（姫路、龍野、高砂、加古川）４郡（神崎、飾磨、揖保、宍粟）から通学をしてきています。

障害も重度重複化の進行に加え多様化しており、個々のニーズに対応していくためには、日頃から各学部（小学部・中学部・高等部)、諸機関（福祉・労働・行政）との連携が欠かせないものとなっています。

義務教育終了後はほとんどの生徒が高等部に入学してきます。高等部卒業後の進路先については、大きく分けて「企業就職」「職業訓練校」「福祉就労」「デイサービス」となっています。15年度の卒業生40名に対して、企業就職者25.0%、訓練校進学者2.5%、福祉就労者57.5%、デイサービス利用者15.0%となっています。ここでいう「デイサービス」は進路希望先の空き待ちを目的として利用しているものを示します。前述したように卒業後の進路を決定するにあたり、在学中より本人・保護者・諸機関・学校と連携を図って進めています。

２．進路の課題

最初に全体的な課題として、児童生徒数の増加に伴う卒業後の進路先の確保があげられます。進路決定をするための居住地での体験実習の場を確保することにも努力をしていますが、なかなかスムーズには運ばないのが現状です。

「企業就職」をした卒業生についてここ数年に起こっていることは、卒業後１～２ケ月程度で離職を余儀なくされてしまうケースが増加していることです。原因として推測できることは、在学中の実習は最大で２週間の期間で行われるため、長期間の就労をするということに対する力が育っていないことにあると考えられます。学校側も本人にも大きな問題となっています。

「福祉就労」の場合の課題は、施設や作業所の定員と希望生徒数の問題です。どちらの進路を取るにしても本人の意思確認が一番大切ではないかと考えられます。

３．自閉症児の進路の現状と課題

「企業就職」を希望する生徒は、現場の方に実習中に十分に理解していただいた上で、調整をしながら雇用に結びつけています。就労先で単純作業では力を発揮することができますが、作業内容がめまぐるしく変わる環境では順応しにくく、職場の環境的な構造化や、現場の従業員に自閉症の障害特性に関する理解を深めることが必要です。

学校や家庭にいる間は、ある程度個別的に対応することが可能ですが、就労の現場では、ひとりに対応できる職員も少なく、集団適応がうまくいかない場合もあります。

４．進路を踏まえ身につけておきたい力、心がけたいこと

障害の有無に関係なく、社会に出るにあたり「マナー」を身につけることは非常に重要です。「マナー」を身につけると言葉で言うことは簡単なことですが、例えば高等部３年生で卒業前に即座に身に付けさせることは困難であると思います。長い時間をかけて、生活や体験の中で繰り返し覚えていくことが必要と考えます。

最も大切なことは「基本的生活習慣の確立」だと考えています。卒業後にどんな進路を取るにせよ、形は違っても「就労」をすることは避けられません。そのためにも生活習慣はしっかりと身につけておく必要があると考えます。



(山田　幸宣)

自閉症の人たちが地域生活を送る上で大切なこと

幼児期や学齢期のお子さんをお持ちのご家族から、「学校卒業後、この子がどのような生活ができるのかとても不安です。」「グループホームに入って自立した生活をして欲しいけど、どうしたらいいのか。」「親がいなくなったらどうなるのでしょうか。」といったお話を伺うことがあります。

ご家族の方は、「子どもの将来はどうなるのだろう」「地域で生きていくためには何をしていけばよいのだろう」といった不安がたくさんあると思います。

そこで、学校を卒業した後地域で暮らしていく際に、お子さんやご家族にとってどのようなことが大切なのか考えてみました。

「自立」を考える

ご家族から「子どもには自立して欲しい」と言われることがあります。さて、「自立」とはどういったことでしょう。すべて何でも自分だけで出来ることが自立ではないと思います。大人という自覚を持ち、自分で納得し、自分の意思を持って生きていくことが自立だと考えます。出来ないところは周りの人の手助けを求めながら暮らしていくことも自立なのです。例えば、一人暮らしをしたいが食事の用意が一人では難しい人の場合、居宅介護支援の家事援助を利用し生活していくことも「自立」なのです。

日中活動の場を家庭以外で

地域生活を行う中で大切なこととして、「日中は、家庭以外で過ごす」ことが挙げられます。そういった、日中は外で働き、夜は家庭で過ごすという職住分離の視点や定期的に通う場所があることが、安定的な生活のリズムを作っていくことに繋がっていきます。

日中活動の場として考えられるのは、①一般就労、②福祉的就労（授産施設等への入・通所)、③更生施設への入・通所、④デイサービス等が挙げられます。最近では、様々な場所で自閉症の人たちの受け入れが進んできています。例えば、一般就労の場でいうと正確な作業力が評価され活躍されている自閉症の人も多くいらっしゃいます。

地域のサービス、制度を知って、使って様々な経験を積もう

先日あるお母さんからお話を伺いました。「うちの子は、月２回日曜日に、○○ヘルパーステーションの移動介護を利用してプールに行っています。水曜日は、○○社会福祉協議会のヘルパーさんと買い物にいっています。」とのことです。このように、ご家族と一緒に活動することも大切ですが、他の人と一緒に活動する経験を積み重ねていくことも、生活の幅を広げる上でとても大切なことです。また、このようなサービスを利用することは、余暇活動の充実にも繋がります。

そして、ショートスティの利用も、地域生活を行っていく上では必要なことがあります。ご家族の方が病気になった時など急な利用の場合、自閉症の人たちはとても不安になり混乱してしまうことも見られます。そのためにも、日頃からショートスティの経験を積み、緊急時の利用が可能な施設を見つけておくことは大切です。また、将来ご家族と離れて暮らすための準備にも繋がっていきます。

このように、様々なサービスを使って経験を積むことは大切なことです。そのためには、地域にどのようなサービスがあり、どのように利用できるのかをご家族の方が知っておくことが重要になります。しかし、ご家族の方が地域資源の情報を得ることは困難なことです。そのためにも、気軽に相談できる機関を知っておくことが大切になります。例えば、各市町の障害福祉担当窓口や障害児(者) 地域療育等支援事業のコーディネーター（第３章　障害児(者) 地域療育等支援事業を参照) 等が挙げられます。

また、国、県、市町によって、手当や権利擁護等の制度があります。制度の一部は第４章に記載しておりますが、詳しくは各市町の「福祉の手引き」(名称が違う場合があります) を入手されることをお勧めします。

サービスを利用するに当たっての留意点

①お子さんについて詳しく事業所に伝えましょう。

　行動特徴やご家族との関わり方等、できるだけ具体的に伝えるように心がけましょう。第５章にある「プロフィールブック」「サポートブック」の活用もよいと思います。

②サービスの利用について、事前にお子さんにしっかり伝えましょう。

　「いつから」「どこで」「だれと」「何を」「いつまでするのか」ということを、お子さんがわかる方法で伝えてください。

　スケジュールをカレンダーや写真を使って説明する方法も有効です。また利用理由についても伝えてあげてください。

親の会に入って情報交換を

同じ障害を持つお子さんのいるご家族の方が、地域情報等の情報交換や専門家を呼んで勉強会を行うなど積極的に活動している親の会が多くあります。また、本人活動や余暇活動を行うためのボランティアの養成や作業所の設立、運営を行うなど地域生活を支えるため組織作りに取り組んでいる親の会もあります。

一番大切なことは、そういった活動を通じて、悩みを相談できる親同士の仲間ができることだと考えます。

ご家族だけで抱え込まないで

以前、あるお母さんから「お子さんの家族への暴力が激しく困っている」と泣きながら相談を受けたことがありました。「どうしてもっと早くご相談頂けなかったのですか」とお尋ねしました。するとそのお母さんは、「なんとか親ががんばらなくてはと思ったので」と答えられました。

ご家族の方はみなさんこのような思いをお持ちだと思います。しかし、ご家族だけでは解決が難しいこともあります。そのような場合は、相談をしてください。そして一人で抱え込まないでください。

様々な人が関わり、みんなで考えていけば必ず解決の糸口が見えてくるものです。

(和田　康宏)



主な福祉施設等の種類と内容について (平成17年３月現在)

〈知的障害のある場合〉

知的障害者のために種々の施設があり、生活訓練や職業訓練などを行っています。

種　　別	内　　容	問い合わせ先
知的障害者更生施設※ (入所・通所)	18歳以上の知的障害者のための施設で、更生に必要な指導や訓練が行われます。(施設訓練等支援費)	各施設 支援費については、各市町窓口
知的障害者授産施設※ (入所・通所)	18歳以上の知的障害者のための施設で、雇用される事が困難な方に自活に必要な訓練が行われます。(施設訓練等支援費)	各施設 支援費については、各市町窓口
知的障害者通勤寮※	就労している知的障害者に対し、居室その他の設備が利用できるとともに、独立及び自活に必要な助言や指導を受けることが出来ます。(施設訓練等支援費)	各施設 支援費については、各市町窓口
知的障害者福祉ホーム	住居を求めている知的障害者のための施設で、低額な料金で居室その他の設備が利用できるとともに、日常生活に必要な便宜をうけることが出来ます。	各施設
知的障害者地域生活援助事業 (グループホーム) ※	数名の障害者が世話人の支援（食事の提供、身の回りの世話など）を受けながら、共同生活を行うものです。(居宅生活支援費)	各施設 支援費については、各市町窓口
知的障害者福祉工場	作業能力はあるものの、対人関係や健康管理等の理由により、一般企業に就労できない知的障害者のための施設（通所）で、生活指導や健康管理等に配慮された環境の下で働くことにより、社会的自立が促進されることを目的とします。	各施設 雇用契約を結ぶ
知的障害者デイサービスセンター※	地域において就労が困難な在宅の知的障害者が通所して、文化的活動や機能訓練等を受けることができます。(居宅生活支援費)	各施設 支援費については、各市町窓口
知的障害者小規模通所授産施設	常時利用する人が10人以上20人未満の知的障害者通所授産施設で、社会福祉法人、ＮＰＯ法人が運営を行います。	各施設
知的障害者小規模作業所	親の会等が運営し、知的障害者の特性に応じた作業指導や生活訓練を行います。	各施設

※印のついている施設利用は支援費支給が条件となっております。支援費については、「第4章　制度について」を参照してください。

〈知的障害のない場合〉

基本的に支援費支給が行われない場合、支援費支給が条件になっている知的障害者施設の利用は出来ません。ただし、支援費支給については、ご本人の状態等を考慮される場合もありますので、各市町障害福祉担当窓口にお尋ね下さい。

また、知的障害のない方で、支援費支給が受けられない方のなかには、精神保健福祉関係の施設を利用されている場合もあります。主な精神保健福祉関係の施設は以下の通りです。

種　　別	内　　容	問い合わせ先
精神障害者生活訓練施設 (援護寮)	一定期間生活の場として施設を利用し、医療的専門知識を持った職員により、自立のための支援を受けることができます。	各施設
精神障害者授産施設 (入所・通所)	作業能力を持つ精神障害者が、社会復帰に必要な作業訓練及び指導を受けることができます。	各施設
精神障害者小規模授産施設 (入所・通所)	常時10人以上20人未満の施設で、作業能力を持つ精神障害者が、社会復帰に必要な作業訓練及び指導を受けることができます。	各施設
精神障害者福祉ホーム	住居を求めている精神障害者のための施設で、低額な料金で居室その他の設備が利用できるとともに、日常生活に必要な便宜を受けることが出来ます。	各施設
精神障害者福祉工場	作業能力はあるものの、対人関係や健康管理等の理由により、一般企業に就労できない精神障害者のための施設（通所）で、生活指導や健康管理等に配慮された環境の下で働くことにより、社会的自立が促進されること目的とします。	各施設 雇用関係を結ぶ
精神障害者地域生活支援センター	地域の精神障害者の福祉についての相談ができ、必要な助言が受けられます。また、関係機関との連絡調整等の支援が受けられます。	各施設
精神障害者地域生活援助事業 (精神障害者グループホーム)	食事や金銭管理、服薬指導等を世話人の支援を受けながら、共同生活を行い自立生活の助長を図ることを目的としています。	各施設

※平成１８年１０月に施設体系の改正が行われる予定です。

授産施設（通所）の一日　〈加古川はぐるまの家の場合〉

１．知的障害者通所授産施設「加古川はぐるまの家」

加古川はぐるまの家は昭和55年４月、地元の加古川ロータリークラブ25周年記念の社会奉仕活動として誕生したユニークな経緯の施設です。以来、充実した大人の暮らしを目指して「働く環境」を整え、その活動の延長線上にある「就労による社会参加」を推進してきました。

現在、利用定員は50名で、17才から39才までの人たちが利用しており、利用者の平均年齢は27才、平均在所年数は５年11カ月となっています。

知的障害者の施設ですからみなさん療育手帳を持っていますが、重複障害の方もいます。
また自閉症若しくは自閉的傾向であると思われる方もたくさん利用されています。

２．働く力の育成と環境づくり

利用者の多くはこれまでの「出来ないこと」の訓練では自分に自信が持てず施設にたどり着いています。また体験学習が必要にもかかわらず「自分でする」という機会がなかなか得られません。私たちはそんな利用者の自発的な意欲を引き出す環境をつくるため、以下のことに心掛けています。

①利用者の特性を活かす作業種を開拓する（人に仕事を合わす）
②作業の効率化や円滑化について創意工夫をする（補助具の開発）
③仕事量を120パーセント確保する（伸びる力を保証する）
④「労働・賃金」そして「暮らす」ことの関係を具体的な体験を通して伝える
⑤他者と比較した評価ではなく、本人の精一杯の生き方を「認め励ます」プラスの声掛けを心掛ける

このような働く環境（個別支援計画を基に１日６時間しっかり働く）の中から利用者は「自分にも力があること」を知り、自信を持ち始めます。自信が持てれば不得手な部分に挑戦する意欲も起こり、結果的に生活全般の意欲へと拡大していくのです。そして適職を見つけ、諸制度を活用しながら自分の居場所のある会社へ支援を受けながら巣立っていきます。

しかし、施設という限られた環境の中だけではうまく適応出来ない、より重い障害を持つ利用者がたくさんいます。そこで私たちはその人たちの特性を活かす活躍の場を事業所の中に借りて、直接、会社で働く体験を積み重ねる訓練（企業内授産）にも取り組んできました。

事業所は魔法使い。個々の特性を活かす様々な仕事がいっぱいあり、利用者の能力開発のチャンスがあります。安全に細心の注意を図りながら職員が付き添い共に働くことで、事業所も利用者もスムーズに適応することができ、着実に成果を上げています。

―Ａさんの場合―

作業室ではどの仕事にも適応出来なかったＡさん。思い切って企業内授産の洗瓶の会社で働くことにチャレンジ。仕事はラインに流れてくるケースから２種類の瓶を抜きとり整理用ケースに並べ、そのケースが一杯になるとパレットに置くという作業です。工程をパターン化することで自分の役割がわかりやすくなり、見事な手つきで瓶整理をこなして達成感を満喫しています。

３．加古川はぐるまの家が日々大切にしていること

授産施設は働く場所ですが、一般社会では仕事をする場所という認識が乏しく、施設にいる障害者は働けないという偏見もあります。そんな中にあって利用者のことを正しく理解してもらうためには、まず職員の努力が必要です。そして、私たちは事業所から受託した仕事を（カメラ課、紙器加工課、タオル課、組み立て課、企業内授産３カ所）

以下の２つのことを特に意識して取り組んでいます。

①施設という名前に甘えず「100点満点のよい仕事をすること」
②品質、納期、工賃まで「施設」でも「事業所」でもなんら区別はないというプライド

こんな積み重ねが「信用」を生み、経済不況の中にあってもその「信用」が仕事を生み出し、働く力として、また労働力として地域社会から認知されるようになりました。

一方、授産施設では授産活動で得た収入から必要経費を控除したすべてを「作業賃金」として利用者に還元しています。全国平均の作業賃金は月額１万円程度ですが、加古川はぐるまの家では３万５千円程度支給しています。

４．加古川はぐるまの家の一日

８：45　・各自公共交通機関等を利用して出勤します（作業服に着替えて準備）
９：00　・朝礼、ラジオ体操
９：10　・作業開始、作業班毎にミーティング（個々の作業の確認）
①視覚で情報を得ることが得意な利用者には文字や絵や写真等を使って１日の予定が見通せるようにスケジュール表で確認する
②仕事を教える前に課題分析をして「いつも決まった手順でパターン化」して伝える
③周りの刺激が気にならないような空間をつくる
12：00　・昼食・休憩（休憩時間の過ごし方や居場所を伝える）
○トイレ掃除当番等は場所の確認、掃除の手順を指示書で伝える
13：00　・作業開始、作業班毎にミーティング（個々の作業の確認）
14：15　・休憩時間（トイレ休憩、ティータイム）
14：30　・作業再開
16：00　・作業終了（掃除、帰宅準備）
①各自公共交通機関等を利用して帰宅
②交通ダイヤの変更や工事等による様々な変更はできるだけ早く情報を収集して個々に応じた伝達方法で伝える



５．授産施設の今後・・・

今、厚生労働省では「今後の障害者保健福祉施策について（グランドデザイン（案））」が出され、障害者福祉の機能再編が検討されています。(厚労省ホームページアドレス　http://www.mhlw.go.jp/）今後、授産施設がどう位置づけられるかはまだわかりません。しかし、どんな大改革があり、どんな時代がこようとも「加古川はぐるまの家」は、今後も働くことを大切に目の前にいる利用者が望む「地域の中で普通に働き、暮らす」ことを支援し続けていきたいと思います。

(高井　敏子)

更生施設（入所）の一日　〈あかりの家の場合〉

１．知的障害者入所更生施設「あかりの家」

あかりの家は、兵庫県自閉症児、者親の会を母体として結成された協力者会が中心となり、自閉症の人たちの入所施設設立に向けて５年以上に渡って資金調達、行政や地域社会に働きかけを行って、昭和61年４月に高砂市北浜町に開設されました。

以来、自閉症という障害をもつ人たちを中心とした知的障害者の居住施設として、自閉症施設としての専門性を発揮しながら、利用している人たち一人ひとりの特性に応じた援助を行いそれぞれの自立を目指しています。また、その専門性を地域に提供しながら、地域福祉の拠点の役割を果たしたいと考えています。

地域の中でいい生活習慣と主体的な生活を身につけながら、それぞれの自立を目指して生活しています。

２．生　　活

いい生活習慣を身につけて、自分自身の生活ができていくように援助しています。

【あかりの家の一日】

６：３０	起床・着替え・洗面	１３：３０	作業（平日） 土日祝祭日は余暇活動
７：３０	食事準備	１５：００	ティータイム
８：００	朝食 歯磨き	１５：３０	衣類整理・入浴準備 入浴
９：００		１７：００	夕食準備
９：３０	清掃	１７：３０	夕食 歯磨き
１０：００	体操・ランニング	１８：３０	フリータイム 就寝準備
１１：３０	作業（平日） 土日祭日は余暇活動	２１：００	就寝
１２：００	昼食準備		
	昼食 歯磨き		
	昼休み		

３．作　　業

障害の程度に係わらず、地域の協力を得て利用者全員が生産的作業に従事しています。自閉症の人たちは障害が重くても、作業種目や作業環境・関係の工夫により作業が可能となり、行動障害の軽減・社会的ルールの獲得・地域との接点等、作業によって安定的な日中活動が得られます。

作業の工夫点として、

・作業空間をわかりやすく働きやすい環境設定にして主体的な動きをつくる。
・作業工程や役割を固定し技術の向上をはかると同時に手順行程の理解を促す。
・生活する場と作業する場を空間的に分ける。(「職住分離」の視点)
・一人ひとりの興味や障害特性に応じた作業内容にするよう努める。

・作業工賃→消費（ジュース等）のシステムを作り、働く事の意欲を引き出し、生活に張り合いを持たせる、等のことを行っています。
・「労働・報酬・消費」のシステムを本人が理解しやすい形にする、等のことを行っています。

現在、園外作業は、割り箸製造会社・ケーブル解体・パチンコ台解体を、園内作業は、パチンコ台解体・割り箸袋詰め・さをり織り・さき織りを行っています。

４．家庭とのつながり

隔週土曜日に一泊から二泊程度の週末帰宅を実施しております。

５．クラブ活動

プロの先生に指導していただきながら利用者の個性や感性が活かされる場をつくっています。アートクラブ・華道クラブ・音楽クラブ・料理クラブ・園芸クラブ・陸上クラブがあります。

６．旅行・外出

２～３人のグループによる小旅行や、みんなで参加する親子一泊旅行・日用品の買い物や外食、喫茶店に行くなど余暇を楽しみながら社会生活の体験の場としています。

７．地域とのふれあい

地域行事に積極的に参加するとともに、「あかりまつり」の行事に来ていただく等、地域との交流を大切にしています。

８．年間行事・社会参加活動

１月　お餅つき・２月　播淡ゆうあい文化祭・５月　ゆうあいスポーツ大会
６月　播淡親善運動会・８月　あかり祭り・10月　親子一泊旅行・高砂マラソン
11月　ナイスハートバザール・12月　クリスマス会があります。

９．地域福祉の拠点として

事業としての障害児（者）地域療育等支援事業、短期入所事業の他に、より多くの人に自閉症や知的な障害をもつ人たちへの理解を深めてもらうため、ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行っています。また地域福祉の拠点として、専門性の提供や研修会の開催など、障害をもつ人たちの地域生活をバックアップしています。

(川崎　圭子)



地域生活援助事業（グループホーム）の一日〈希望山荘日笠の場合〉

希望山荘日笠は、平成14年10月高砂市曽根町に開設された、あかりの家法人下のグループホームです。２階建て家屋で、自閉症の人１名と知的障害の人４名が家賃や食費や光熱費などを自ら負担しながら、地域社会の中で世話人と一緒に共同生活しています。

「地域の中で生活したい」「普通の暮らしがしたい」「自立をしたい」希望山荘日笠は、そういう願いを実現するために誕生しました。

グループホームは、５人の利用者の家であり生活の場です。昼間仕事をして、家に帰れば、のんびりとくつろげるアットホームな雰囲気を大切にしています。

毎日の活動

１）生活

利用者は一人の社会人として、自分の責任において自由な生活を送ることを基本にしています。その中で、利用者が援助を必要とする部分について、世話人やバックアップ施設（あかりの家）が支援していきます。世話人は男女１名ずついますのでそれぞれの視点できめ細かな支援を行っています。

共同生活なので、生活のルールや食事の後片付けなどの役割はありますが、利用者が主体となって、それぞれの得意な分野で役割を果たしています。

リビングにひと月の予定表を掲示して一人ひとりの予定が分かりやすく、また各自が生活に見通しを持てる工夫をしています。

２）日中活動

会社や授産施設に通って仕事をしています。朝出かけて夕方、希望山荘日笠に帰って来ます。

３）休日や自由時間

自分の趣味や気に入った楽しみに、また散髪や買い物、外食など、それぞれが有意義に過ごしています。また週末に帰省して自宅で家族と過ごしている人もいます。



バックアップ施設（あかりの家）として

グループホーム担当の支援員がいます。世話人と連携をとりながら、利用者の生活が円滑に行われるよう支援にあたっています。また世話人の育成や運営面・会計の管理なども行います。

(川崎　圭子)

自閉症の人たちの就労における現状と課題

１．はじめに

今、福祉関係者の間では平成16年10月12日付けで厚生労働省障害保健福祉部が提案した「今後の障害保健福祉施策について（改革のグランドデザイン案)」の話題でもちきりです。その後も多くの情報が錯綜気味に押し寄せ、現存の施設が今後どうなっていくのか先行き不安で仕方ない状況下に置かれています。この改革案は、財政問題がその背景にあることは明らかで、負担増につながることなどが懸念されるところですが、施設体系をその機能に着目して見直しを進め『保護』を中心とした仕組みから『自立支援システム』への転換を図ろうとしている点などは大きな期待がもてます。

この動きは厚生労働審議官をトップとした「障害者の就労支援に関する省内検討会議」から本格的に開始されました。この会議の趣旨は福祉的就労から一般就労への移行率や盲、聾、養護学校高等部卒業者の就職する進路率が極めて低い状況を改善するための仕組みを構築することでした。ここでの基本的な考え方は、障害者の地域生活支援を支える重要な柱の一つが就労支援であり、福祉就労から一般就労への移行を円滑に行えるようにするために、授産施設等をその果たしている機能に着目して類型化するとともに、再挑戦の仕組みを充実するというものです。また、6月には自民党障害者施策勉強会から「障害者の就労元年宣言」が提言され、９月には障害者の就労支援に関する有識者懇話会が「障害のある人の『働きたい』を応援する共働宣言」を発表しました。このように官僚、政治家、そして有識者が挙って就労支援を施策の柱に据えようとしています。確かに先行き見えない状況下ではありますが、今ほどチャンスの時期はないでしょう。このような中で、自閉症者の就労について現状と課題を考えてみたいと思います。

２．自閉症者の就職状況

平成16年3月末現在、兵庫県下の公共職業安定所に求職登録中の障害者のうち就業中の知的障害者は2,978人です。就業中の全障害者のうち約28%を占めています。しかし、障害者の雇用の促進等に関する法律の規定では障害の区分まで規定していません。療育手帳の所持者というくくりなので、その中に自閉症の人が何人を占めているかは不明です。そこで、養護学校高等部の卒業生の進路調査から推察することにします。養護学校高等部の自閉症卒業生の進路調査を行った「自閉の生徒の就労研究会、1995」の報告では、平成元年度から平成６年度までの平均就職率は21.5%となっています。同時期の知的障害養護学校高等部の卒業生全体の就職率は39.8%なので（発達障害白書より）自閉症の生徒は知的障害の生徒の半分強の就職率しかありません。平成15年度の兵庫県下の知的障害養護学校高等部の卒業生全体の就職率は19%程度なので、兵庫県下の自閉症の生徒の就職率は約10%程度ではないかと思われます。つまり10人に９人は一般就業以外の別の道をたどっているということになります。

３．就業した自閉症者の職種

自閉症の人たちがどんな職種で就業しているのでしょうか。このことも公表はされていません。参考までに、平成10年度「障害者雇用実態調査」(厚生労働省）によると、知的障害者の産業別雇用状況は製造業が59.2%を占め、次いでサービス業が27.7%（クリーニング、リネン関係が多いと思われる）とこの二つで全体の約87%となっています。前記の「自閉の生徒の就労研究会、1995」の報告でもこの割合は共通しています。いわゆる、一つのことを黙々とやり続けられる良さ、そして、対人接触が不必要な職種に就いていたものと思われます。しかし、日本の産業構造の変化は同じ製造現場でも大量生産から少量多品種生産へ、また、第２次産業から第３次産業へのシフトをもたらしました。平成15年度「障害者雇用実態調査」では、製造業35.3%、次いで卸売・小売業、飲食店・宿泊業32.4%、サービス業29.6%となっています。スーパーなどではバックヤード専門であったのが、売り場にも出なければならなくなり、たちまち対人接触の必要な職種となっています。また、比較的大きな企業で雇用が進むことによって、コンピュータ関連と事務補助業務に就く人も増えてきています。事実、今年度の神戸地域知的障害者合同就職面接会では全体求人の2割が事務系職種でした。高齢者介護施設においては知的障害者の特性を活かして、雇用している好事例も数多く出てきています。また、ファーストフードや衣料メーカーの中には障害者雇用の促進を社会的貢献活動として強力に

進めているところもあります。

4．課題

自閉症の人には、それぞれに独特の興味関心や得意分野があるといわれています。したがってそれを見出し、それに合致した職種、職場を見つけることが何より支援者に求められる能力です。さらにはそのような仕事が数多くあるわけではないので、企業に対して職務設計のプレゼンが出来るような攻めの職場開拓力が求められます。私はこれらのことがジョブコーチに最も求められる能力だと思っています。一方、雇用者は自閉症者に特徴的に現れる行動を就労上の問題行動として雇用に踏み切れないでいることが多くあります。これは企業の問題ではなく、企業に対し本来の自閉症者の行動特徴を理解してもらう支援者の重要な役割です。中には、従来完全なミスマッチと思われる職人の世界で、親方の粘り強い指導の下、仕事中には行動特徴が出ないどころか日々成長していっている人もいます。

ご家族にはいろいろと療育上の役割はあるでしょうが、何より本物の仕事が人を成長させることを信じて就職に向け果敢にチャレンジして欲しいと願います。



5．最後に

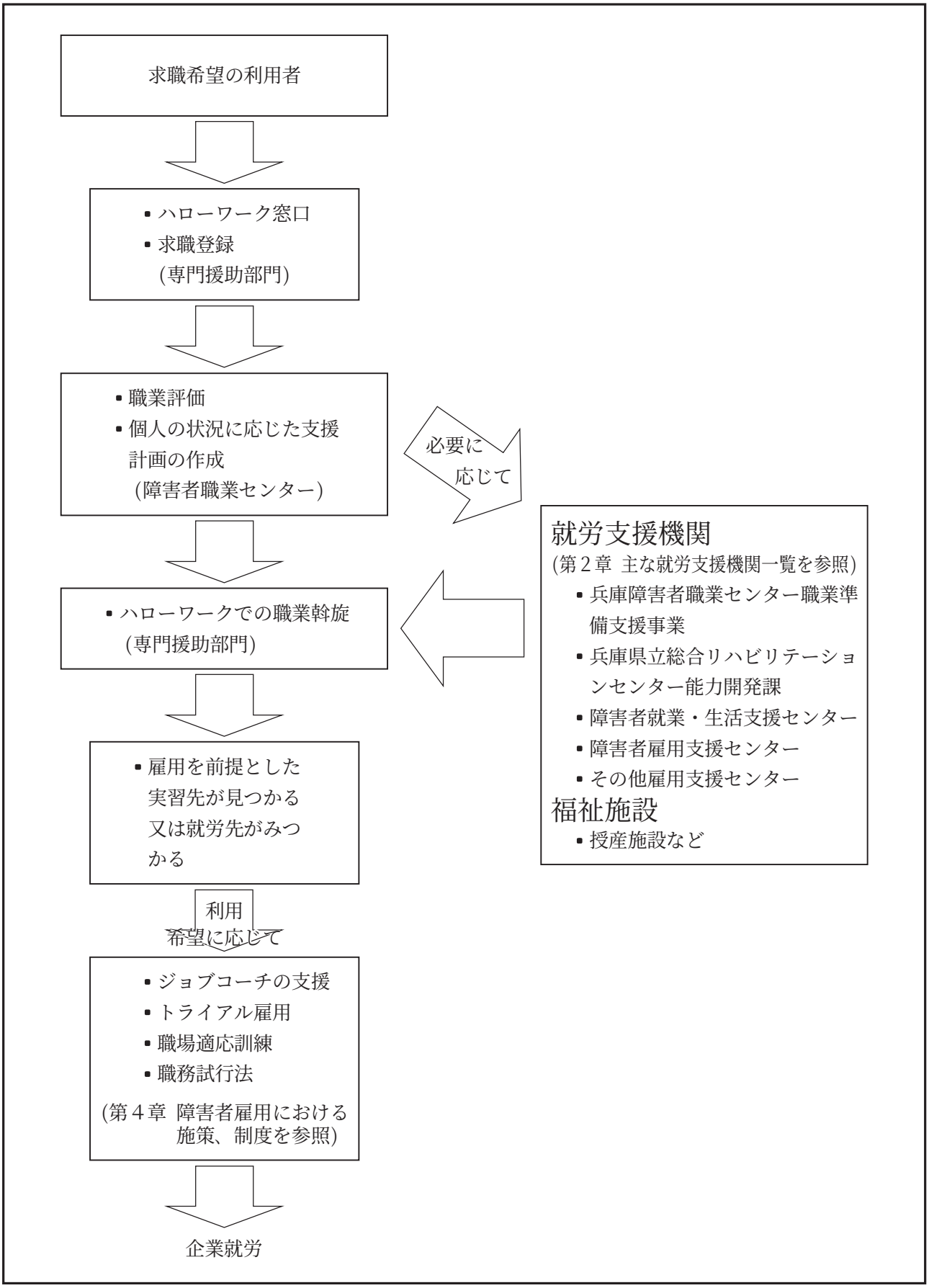
「私を頼りにしている人がいる。そこにこそ自分の居場所がある。そこには自分の出番がある。」(前記共働宣言より) この想いこそが企業就業に向かわせる原動力です。そして、その課題を克服していけるよう、身近な地域で途切れのない多角的な支援が機能するネットワークを形成していくことが肝要であると考えています。

(古川　直樹)

一般的な障害者就労の流れ〔例〕

(平成17年３月現在)

高機能自閉症で各種障害者手帳を取得していない方でも、ご本人の障害について雇用先に伝えた上で就労を希望する方はハローワークでの専門援助部門（障害者就労窓口）の対象になります。



主な就労支援機関一覧

(平成17年３月現在)

兵庫県における障害者の職業自立を援助したり、障害者を雇用する事業主に対して必要なサービスを提供するための主な機関及び施設等には次のようなものが挙げられます。

なお、紙面の都合上、国、県、市の事業を掲載しております。その他に、兵庫社会就労センター協議会（セルプ協議会)、ＮＰＯセルプセンター、育成会等、就労支援に積極的に取り組んでいる施設、団体があります。

公共職業安定所（ハローワーク） (県内22ヶ所)

【主な業務内容】

①職業相談・職業紹介　②求人情報の提供　③雇用保険の給付

ハローワークでの職業相談、紹介業務は、所定の様式により求職申込みを行い、求職登録をします。求職者が障害者の場合は、求職登録票に障害の状況、技能、希望職種等が記載され、この登録票に基づいて綿密な相談が行われます。下記の関係機関と連携して必要に応じて、適性検査などを実施して、その後職業紹介、職業訓練など職業リハビリテーション計画が立てられます。

兵庫障害者職業センター　〒675-0833　神戸市灘区大内通５－２－２　TEL（078）881-6776

【主な業務内容】

①職業評価－就職の希望等を把握した上で、職業能力等を評価し、それらを基にして職場に就職して職場に適応するために必要な支援内容・方法等を含む、個人の状況に応じた支援計画を策定します

②職業指導－就職活動が円滑に実施できるように、また職場で安定して働き続けられるように相談・助言を行います。

③職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援事業－知的障害者、精神障害者などの就業の安定のため、事業所にジョブコーチを派遣し障害者及び事業主に対して直接的、専門的な援助を行います。

④職業準備支援事業－就職や職業生活を可能としていくための職場のルール、基本的な労働習慣の形成等のため、作業支援や職業講話等の職業準備支援講座等による支援を行います。

障害者職業能力開発校

障害者の自立を目指して、一般の公共職業訓練施設において職業訓練を受ける事が困難な障害者に対して、その能力に適応した職業訓練を実施している機関です。入校に関して各校で諸条件がありますので、詳細につきましては、各校にご確認下さい。

名　　称	住所・電話番号
国立兵庫障害者職業能力開発校	〒664－0845　伊丹市東有岡４－８　　TEL 072－782－3210
兵庫県立障害者高等技術専門学院	〒651－2134　神戸市西区曙町1070　　TEL 078－927－3230

その他就労支援機関

就職希望や在職中の方に対して就労相談、支援プログラムの策定、職業準備訓練、実習支援、職業生活支援等のサービスを提供しながら、就労の場の確保と安定した職業生活の支援を行う機関として次の機関があります。

それぞれ機関によって支援内容が異なりますので、詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

名　　称	住所・電話番号	備　　考
兵庫県立総合リハビリテーション センター 能力開発課	〒651－2181 神戸市西区曙町1070 TEL 078－927－2727	対象：県内在住の障害者
加古川障害者就業・生活支援センター	〒675－0002 加古川市山手１丁目11番10号 TEL 0794－38－8728	対象：加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、明石市に在住の障害者
加古川市立就労支援センター		対象：加古川市在住の障害者
神戸障害者就業・生活支援センター	〒652－0897 神戸市兵庫区駅南通５－１－１　神戸市立中部在宅障害者福祉センター２階 TEL 078－672－6480	対象：神戸市在住の障害者
姫路市障害者雇用支援センター	〒670－0074 姫路市御立西５丁目６番26号 TEL 0792－91－6504	対象：姫路市内在住で各種障害者手帳をお持ちの方
宝塚市障害者就業・生活支援センター	(平成17年４月～５月) 〒665－0812 宝塚市口谷東３丁目28 ワークプラザ宝塚内 TEL 0797－89－8733 (平成17年５月より) 〒665－0031 宝塚市末広町３番78号 宝塚勤労市民センター１階	対象：宝塚市内在住で各種障害者手帳をお持ちの方
伊丹市障害者就労支援センター	〒664－0845 伊丹市東有岡４丁目29番地 TEL 072－785－4038	対象：伊丹市在住の20歳～40歳までで各種障害者手帳をお持ちの方

社団法人　日本自閉症協会　兵庫県支部

http：//www.hk.sun-ip.or.jp/ashyogo/

（1）沿　　革

'80　4月　兵庫県自閉症児、者親の会として発足（任意団体)。
　　同時に全国組織（自閉症児、者親の会全国協議会）へ加入。
'89　10月　社団法人の認証を受ける。
　　組織の改称　社団法人　日本自閉症協会となり、各都道府県の親の会は支部となる。

（2）主な活動として

自閉症と診断された時から親の苦しみが始まります。社会的に認知されにくい子供との暮らしを一人だけの事としないで互いに支え合って正しい理解を願っての活動となります。

１；ブロック組織を置いて各ブロック代表が兵庫県支部の役員として参加します。(高機能ブロックは県下で一つの単位で組織化します。)
２；活動の主体は、各ブロックでの活動を重視しています。
３；講演会活動。各ブロックを巡回して実施しています。
４；夏期療育キャンプの実施。２泊３日で親と子供が参加します。
５；各研修会の実施をしています。
６；相談事業をしています。
７；ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバーとの連携での活動も行っています。
８；自閉症協会本部との連携で活動を進めています。

（3）会費については

入会金として　３,０００円
会費(年会費)　６,０００円

（4）入会希望、その他連絡先は

〒６７５－００２５　　加古川市尾上町養田１２９０－１０
　　秋山　満江（事務局長)
　　Tel　０７９４－２１－２８９５

（5）自閉症を取り巻く環境と課題について

自閉症に対する社会的認知の広がりや発達障害者支援法の成立など、自閉症を取り巻く環境は変化してきております。一般的な自閉症の障害特性と、自閉症児、者一人ひとりのニードの違いに応じたこまかな支援が大きな課題と思います。

（6）子どもをささえる家族の役割について

1943年に自閉症が報告されて半世紀が過ぎたいま、高機能自閉症やアスペルガー症候群等の高機能広汎性発達障害、自閉症スペクトラムと自閉症の概念がひろがっています。子育ての原点は家庭にあると思います。子どもの障害を理解し、ささえあって育てていく事と一貫性を持つことが大切だと考えます。

社団法人　日本自閉症協会　兵庫県支部　高機能ブロック

兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会「ピュアコスモ」

http：//www5f.biglobe.ne.jp/~h_hfpdd

（１）沿　　革

2003年５月　兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会ピュアコスモ発足される。
2004年６月　(社団)日本自閉症協会　兵庫県支部の高機能ブロックとして組織化される。

（２）主な活動内容

本　人　活　動…高機能自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害を持つ本人が集まって楽しい時間を持つことを目的にしています。
学　　習　　会…保護者・関係者が障害について正確な知識をもち、理解を深めることが大切だと考えています。
グループ相談会…専門家の先生にグループに加わっていただいて、日々の生活の中でそれぞれが困っていること迷っていることを持ち寄り、共に考える場です。
地域会員交流会…播磨・神戸・阪神の地区ごとに集まって交流を持っています。

（３）会　　費

入会金　３,０００円　　年会費　６,０００円
行事の際には別途参加費を集めています。

（４）

入会希望の方は氏名、住所、電話・FAX（あれば）番号、メールアドレス（あれば)、高機能広汎性発達障害の方の氏名・生年月日・性別をFAXまたはＥメールでお知らせください。
FAX　　０７２－７７４－７４４９
メールアドレス　purecosmo@jttk.zaq.ne.jp

（５）会における現状と課題など

発達障害者支援法は成立、高機能自閉症も含めた一人一人の特徴に応じた教育的支援を行う「特別支援教育」は推進されつつありますが、高機能自閉症児・者について、世間一般に正しく理解されているとは言いがたいのが現実でしょう。

同じ県内でも幼児期の療育的支援が受けやすい地域とそうでないところ、学校教育での個別的な配慮を受けている方と希望しても受けにくい場合があります。また、就労支援、生活支援も不十分ですし、専門の医療機関は絶対的に不足しています。会員それぞれが直面している課題は多岐にわたります。

（６）診断を受けて間もないお父さん・お母さんへ一言

高機能自閉症・広汎性発達障害・アスペルガー症候群の子どもたちは一見してその難しさが見えにくく、本人も親もがんばりすぎてしまいがちですから、本人だけでなく、お父さん・お母さんもほっとできる場が必要です。

また、同じ診断名でも一人一人特徴が違っていて、必要な環境や工夫もそれぞれ違います。あなたのお子さんの特徴を知り、お子さんの実感を大切にして、「好きなこと・得意なことは何か」に目を向け、親子で楽しい時間をもつことが、お子さん自身の成長する力を助けると思います。

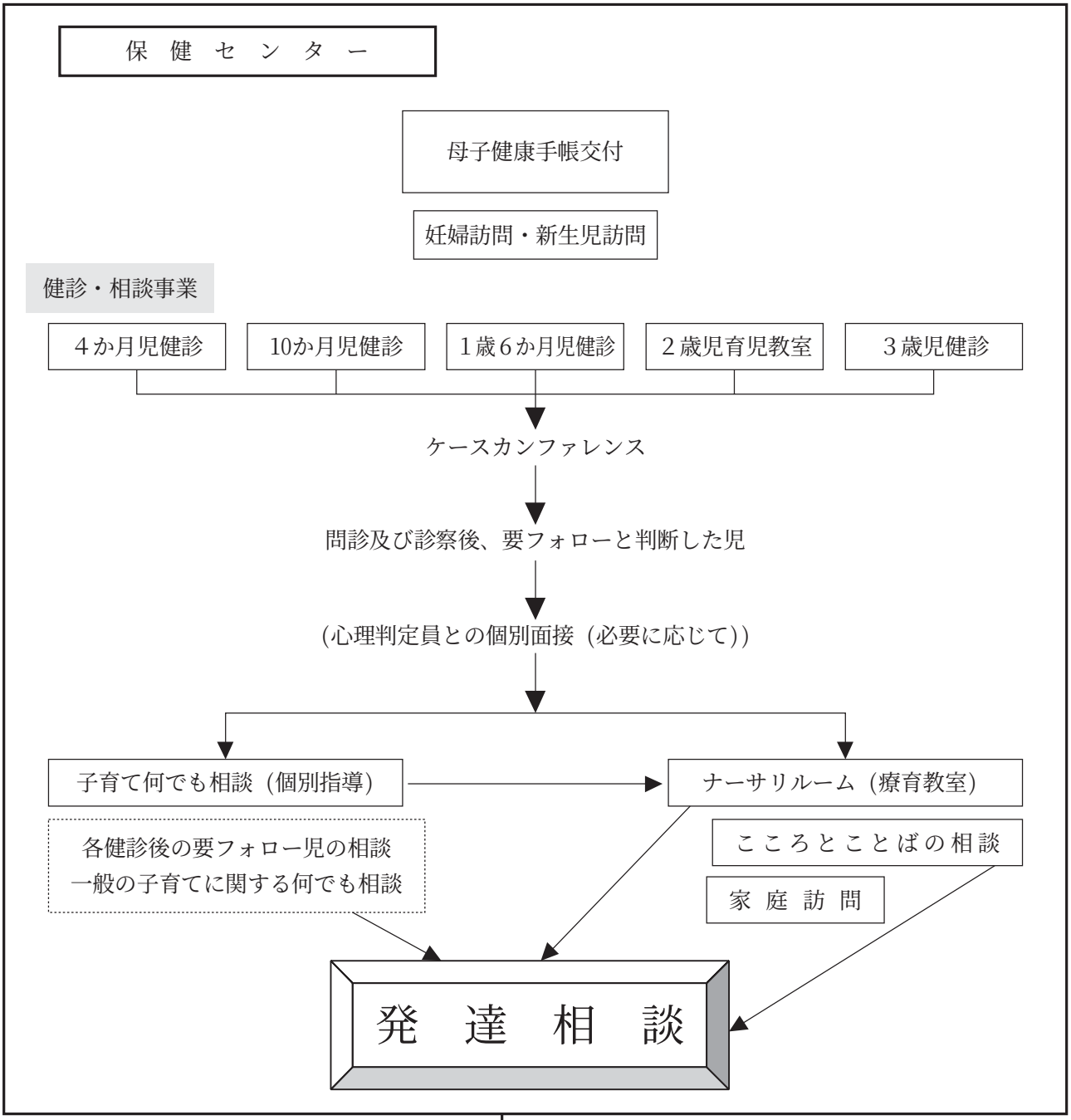
第3章
子育て、発達に関するご相談は…

保健センター

(平成17年３月現在)

兵庫県内106箇所設置されており、母子保健に関して様々な相談活動を行っています。
保健師を中心に、場合によって医師、心理士等がご相談にあたります。
保健センターによって相談内容、相談日が異なりますので、各保健センターにお問い合わせ下さい。

母子保健事業の体系図 (社町の場合)



「子育て何でも相談」(実施主体：町保健センター) 〈社町の場合〉

【目　的】　子育ての悩み、不安を抱える親の支援として、身近な相談窓口を設置。
【回　数】　月１回
【対　象】　乳幼児、学童一般で、子育てに関する相談何でも。
　　(例)
　　・乳幼児健診後の要フォロー児
　　・ことばが遅いなど、心身の発達の遅れが気になる
　　・子どもへの接し方がわからない
　　・子どもへのしつけの仕方がわからない
　　・イライラするなど保護者のストレス
　　・虐待しそう
　　・離乳食がうまく進まない
　　・その他
【スタッフ】　保健師、栄養士、心理判定員、看護師、母子保健推進員
【内　　容】　個別相談（必要に応じ、心理相談）

こども家庭センター（児童相談所）

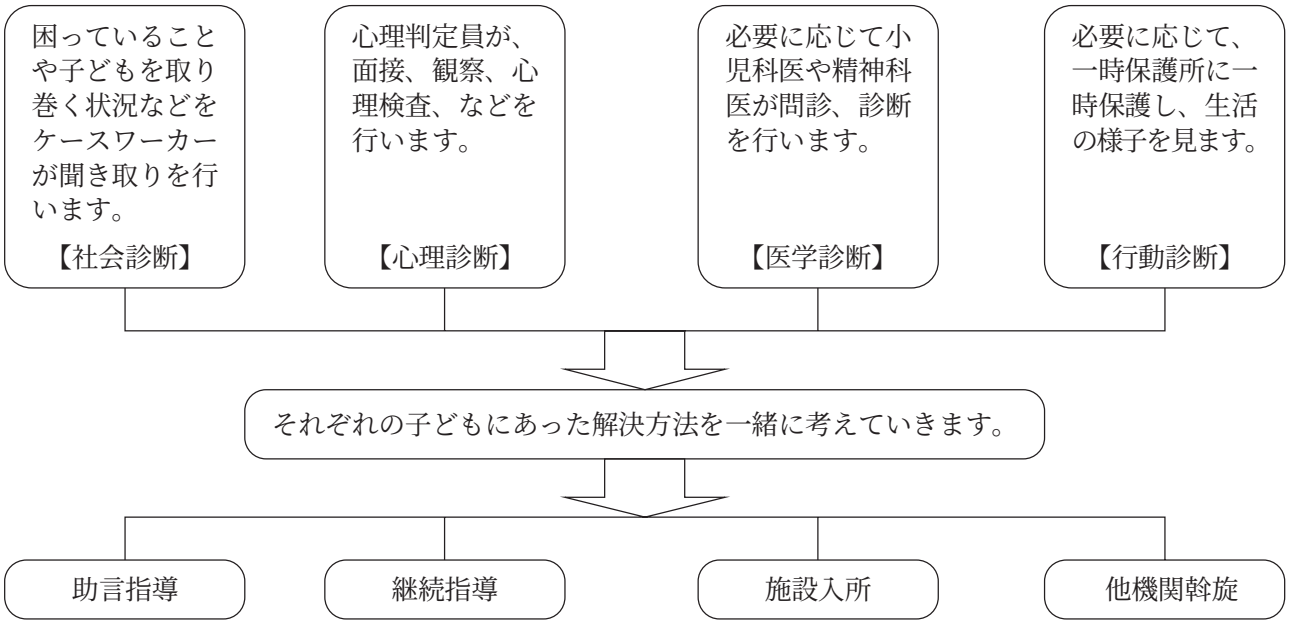
(平成17年４月現在)

こども家庭センター（児童相談所）は、児童福祉法に定められている機関で、０歳～１８歳未満の児童や家庭に関するさまざまな問題についての相談援助活動を行っています。なお、平成16年11月の児童福祉法の改正により、平成17年４月１日から「軽微」な相談は市町の福祉関係窓口が担当し、こども家庭センターはより「専門的」な相談を担当することになりました。

相談内容

○子どもに関するより専門的な知識や技術を必要とする相談
○子どもに関する医学的、心理学的、教育学的、社会学的及び精神保健上の判定を必要とする相談
○児童虐待に係る立入調査や一時保護、専門的な判定、あるいは児童福祉施設への入所等の行政権限の発動が必要とされる困難な相談

相談の進め方及び援助の方法



こども家庭センター（児童相談所）一覧

機　関　名	郵便番号・所在地	電話番号
中央こども家庭センター	〒673－0021　明石市北王子町13－５	078－923－9966
洲本分室	〒656－0021　洲本市塩屋２丁目４－５（洲本総合庁舎内）	0799－26－2075
西宮こども家庭センター	〒662－0862　西宮市青木町３－23	0798－71－4670
柏原分室	〒669－3309　丹波市柏原町柏原688（柏原総合庁舎内）	0795－73－3866
尼崎駐在	〒661－0024　尼崎市三反田町１丁目１－１ (尼崎市教育・障害福祉センター内)	06－6423－0801
姫路こども家庭センター	〒670－0092　姫路市新在家本町１丁目１－58	0792－97－1261
豊岡こども家庭センター	〒668－0025　豊岡市幸町１－８	0796－22－4314
神戸市こども家庭センター	〒650－0044　神戸市中央区東川崎町１丁目３－１	078－382－2525

障害児(者)地域療育等支援事業

(平成17年３月現在)

在宅の、知的障害児（者)、身体障害児、重症心身障害児（者）及びその家族を対象に、障害への理解、関わり方、福祉サービスの使い方等について専門スタッフが相談に応じたり、具体的な助言等を行います。支援内容は以下の通りです。

【支援内容】

○専任の相談員（コーディネーター）が必要な福祉情報を提供します。また相談内容に応じて福祉サービスの利用援助や関係機関との連携、調整、紹介を行います。

○施設に来ていただいて、専門スタッフが相談、助言を行います。

○専門スタッフが、家庭に訪問し相談、助言を行います。

○保育所、学校、福祉施設等の職員に対し、スタッフを派遣し療育に関する助言を行います。

※専任の相談員（コーディネーター）が配置されていますので、お近くの施設にご相談下さい。

障害児（者）地域療育等支援事業受託施設一覧（平成17年３月現在)

圏　域	施 設 名	所在地・電話	圏　域	施 設 名	所在地・電話
阪神南	砂子療育園	西宮市 0798－47－9959	東播磨	大地の家	明石市 078－934－1212
	一羊園	西宮市 0798－23－6865		つつじ療育園	加古川市 0794－31－5100
	わかば園	西宮市 0798－34－3361		あかりの家	高砂市 0792－54－3292
	たじかの園	尼崎市 06－6423－0210	姫　路	ルネス花北	姫路市 0792－88－7122
	三田谷学園	芦屋市 0797－22－5025	中播磨	香翠寮	香寺町 0792－32－6151
	ななくさ清光園	西宮市 0798－56－1700	西播磨	愛心園	上郡町 0791－52－3959
阪神北	すみれ園	宝塚市 0797－86－7122	北播磨	希望の郷	加西市 0790－48－2521
	ゆうゆう	伊丹市 0727－77－7486	但　馬	出石精和園	出石町 0796－52－3438
	かるがも園	三田市 0795－68－1955	丹　波	三美学苑	丹波市 0795－77－0094
	川西市障害児(者)地域生活支援センター	川西市 072－758－6228	淡　路	五色精光園	五色町 0799－35－0326

神戸市は、障害児（者）地域療育等支援事業・市町村地域生活支援事業（身体障害者対象）に基づき、障害者地域生活支援センターが設置されています。

障害者地域生活支援センター一覧（平成17年３月現在)

対 象 地 域	センター名	住　　所	電 話 番 号
東灘区	ひがしなだ障害者地域生活支援センター	東灘区西岡本２－25－１	078－452－1510
灘　区・中央区	なだ障害者地域生活支援センター	灘区岩屋北町６－１－４	078－882－7013
兵庫区・長田区	ひょうご障害者地域生活支援センター	兵庫区駅南通５－１－１	078－686－1731
北　区	ほくしん障害者地域生活支援センター	北区有野中町１－３－８	078－982－9595
須磨区	すま障害者地域生活支援センター	須磨区戎町３－５－１	078－735－3833
垂水区	たるみ障害者地域生活支援センター	垂水区本多聞７－２－３	078－787－5715
西　区	にし障害者地域生活支援センター	西区糀台５－10－２	078－997－7861

兵庫県立障害児教育センター

(平成17年３月現在)

兵庫県立障害児教育センターでは、以下のような様子がみられるお子さんについての相談支援を行っています。

○極端に近づいて物をみる	○視線を合わせようとしない
○後ろから呼びかけてもふりむかない	○人に対して関心を示さない
○手や足の動かし方がぎこちない	○身の回りのことが一人でできない
○発音や話し方がはっきりしない	○いつも顔色が悪く、元気に遊ばない
○ことばがなかなか出ない	○慢性の病気や発作がある

○相談方法

相談曜日・時間　月～金９：00～17：00　土９：00～12：00

・電 話 相 談　電話による相談です。

・来 所 相 談　当センターに来ていただいての相談です。予約制のため、電話でお申し込みください。

・訪 問 相 談　ご依頼に応じて、学校等へ専門の相談員やセンター職員がうかがいます。

・巡回教育相談　県下15会場で７月～10月に巡回相談を行っています。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

ひょうご学習障害相談室

(平成17年3月現在)

ひょうご学習障害相談室は、県立障害児教育センターの中にあります。LD、ADHD、高機能自閉症等に関する情報提供や、以下のような様子が見られるお子さんについての相談支援を行っています。

○学習につまづきがある	○手先が不器用である
○集団での活動に入りにくい	○ぼんやりすることが多い
○友だちとうまく遊べない	○整理整頓が苦手
○落ち着きがない	○指示に応じて行動できない
○カッとなりやすい	○会話のやりとりが苦手
○忘れ物が多い	○１つのことにこだわることがある

○相談方法

相談曜日・時間　月～金９：00～17：00　土９：00～12：00

・電 話 相 談　電話による相談です。

・面 接 相 談　相談室に来ていただいての相談です。予約制のため、電話による申し込みが必要です。

・専門家チーム派遣　依頼に応じて、学校等へ専門家チームが伺います。

・巡回教育相談　県下15会場で行っています。詳しくはひょうご学習障害相談室までお問い合わせください。

兵庫県立障害児教育センター／ひょうご学習障害相談室

TEL ＆ FAX　(078)222-3604
〒651-0062　神戸市中央区坂口通２丁目１-18　兵庫県福祉センター５Ｆ
URL　http://www.hyogo-c.ed.jp/~shogaiji-bo/
E-mall shogaiji-bo@hyogo-c.ed.jp

その他の相談窓口等

Ⅰ　人権擁護（成年後見制度）

名　　称	実施主体	電話番号	開設時間帯等
たんぽぽ	弁護士会　高齢者・障害者総合支援センター	078－341－0550	10：00～12：00 13：00～16：00（月～金）
社団法人　成年後見センター リーガルサポート兵庫支部		078－341－2755	９：00～17：00（月～金）
こうべ安心 サポートセンター	神戸市社会福祉協議会	078－271－3740	９：00～17：00（月～金） ※神戸市内の方を基本的に対象としています

Ⅱ　児童虐待

名　　称	実施主体	電話番号	開設時間帯等
児童虐待24時間 ホットライン	中央こども家庭センター	078－921－9119	※夜間（18：00以降）・休日については、中央こどもセンターに自動転送されます
	西宮こども家庭センター	0798－74－9199※	
	姫路こども家庭センター	0792－94－9199※	
	豊岡こども家庭センター	0796－22－9199※	
神戸市こども家庭センター		078－382－2525	

※その他、お近くのこどもセンター、福祉事務所等にご相談ください

Ⅲ　DV(ドメスティック・バイオレンス)※　等

※配偶者・恋人など親密な関係にある暴力で、人権に関わる重大な問題としてとらえられています

名　　称	実施主体	電話番号	開設時間帯等
兵庫県立女性相談センター (配偶者暴力相談支援センター)		078－732－7700	毎日９：00～21：00

Ⅳ　事件・事故被害者等

名　　称	実施主体	電話番号	開設時間帯等
電話相談	NPO ひょうご被害者支援センター (サポートひょうご)	078－367－7833	毎週火・土曜日10：00～16：00
面接相談(要予約)			●臨床心理士による面接相談（カウンセリング）※随時、相談の上 ●弁護士による法律面接相談 第２、４金曜日の13：00～16：00まで
電話相談(代表窓口)	兵庫県弁護士会	078－341－7061	土・日・祝日を除く９：00～17：30
県警なんでも相談	兵庫県警察	TEL：078－361－2110 FAX：078－341－2110	土・日・祝日を除く９：00～17：30
悪質商法１１０番		078－371－9110	
被害者こころの電話		0120－338－274 (FAX 兼用)	犯罪給付制度に関するお問い合わせ・犯罪被害による精神的な悩みやカウンセリングに対応しています。 土・日・祝日を除く９：00～17：45

※「悪質商法」等に関するご相談について、上記窓口以外にお近くの消費生活センター、生活創造センター、生活科学センター、各市町の消費者行政窓口にご相談ください

Ⅴ　大学相談機関

名　　称	実施主体	電話番号	開設時間帯等
教育相談	兵庫教育大学 学校教育学部 附属発達心理臨床研究センター	0795－44－2285	必ず事前に電話で相談日を予約してください。 ●予約の受付時間…月～金曜日：10:30～12:00 13:00～16:30 ●場所：〒673-1494 加東郡社町下久米942－1

第4章

制度について
(福祉、医療、就労等)

療育手帳

(平成17年３月現在)

「療育手帳」という言葉は聞かれたことがあるかもしれません。でも、どういったもので、持つ事によりどういった制度やサービスが受けられるのか、よく分からないという方も多いと思います。ここでは、療育手帳についてＱ＆Ａ方式で分かりやすくご説明します。

Ｑ：療育手帳とは？

Ａ：お住まいの地域又は現在地を管轄する福祉事務所または市町に申請し、こども家庭センター（１８歳未満）または知的障害者更生相談所（１８歳以上）において知的障害と判定された人に対して、都道府県知事または指定都市の市長から交付される手帳のことをいいます。
知的障害児(者)に対する一貫した指導・相談を行うと共に、福祉制度を受けやすくすることを目的としています。

Ｑ：手帳の「A」「B1」「B2」と書いてあるのは何？

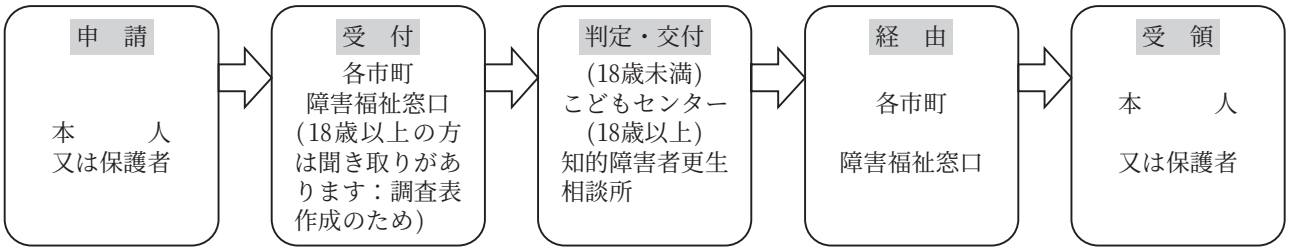
Ａ：兵庫県では障害の程度により、重度の場合は「A」、中度の場合は「B1」、軽度の場合は「Ｂ２」と判定され記入されます。

Ｑ：知的障害を伴わない高機能自閉症の人は療育手帳の取得はできるの？

Ａ：基本的に療育手帳は知的障害児・者のための手帳ですが、事例によってはご本人の状態等が考慮される場合があります。また、高機能自閉症の方の中には、精神障害者保健福祉手帳を取得している人もいますので、詳しくは、各市町障害福祉窓口にお尋ね下さい。

Ｑ：取得するまでにはどういった手続きがいるの？

Ａ：申請から受領までの基本的流れを以下の図で説明します。



Ｑ：手帳を取得してどういった制度やサービスが受けられるの？

Ａ：受けることが出来る主な制度及びサービスを以下の通りです。

制度／資格・要件等　　(○は該当、△は一部該当)				A	B1	B2
医療	心身障害者（児）医療費助成			○		
	高齢重度心身障害者特別医療費助成			○		
交通機関運賃の割引	ＪＲ運賃割引（普通乗車券）	単独で100㎞以上乗車（第２種）	本人半額	○	○	○
		介護者と乗車（第１種）	共に半額	○		
	バス運賃割引（普通乗車券）	単独で乗車	(各バス会社でご確認下さい) 本人半額	○	○	○
		介護者と乗車	共に半額	○		
	航空旅客運賃割引（国内線のみ）	本人及び介護者　25%割引：12歳以上（第１種障害者）		○		
		本人のみ　25%割引：12歳以上（第２種障害者）			○	○
	タクシー運賃1割引（各タクシー会社にご確認下さい）			○	○	○
	福祉タクシー券の交付（各市町によって内容が異なります）			△		
	有料道路の割引証の交付			△		
各種料金減免	ＮＨＫ放送受信料の減免（世帯員全員が市民税非課税世帯は半額、生活保護世帯又はそれに準ずる世帯は全額）			○		
	電話番号案内料の免除（事前申込みが必要）			○	○	○
	駐車禁止除外指定車ステッカーの交付			○		
税の特別措置	所得税の減免 住民税の減免	普通障害者控除			○	○
		特別障害者控除（同居特別障扶養控除）		○		
	軽自動車税の減免（運転者・所有者等の条件あり、市町条例による）			○	○	○
	相続税の減免（特別障害者は減免額増額あり）			○	○	○
	自動車（取得）税の減免（県条例による）			○	○	

※詳しくは、各市町障害福祉担当窓口にお尋ね下さい

支援費制度

(平成17年３月現在)

平成15年４月よりスタートした支援費制度。障害を持った方が、ヘルパーやデイサービス等福祉サービスを利用するときに必要となる制度です。しかし、「よく分からない」という方も多いと思います。ここでは、支援費制度をＱ＆Ａ方式で分かりやすく説明いたします。

Ｑ：支援費制度は今までの制度とどこが違うの？

Ａ：これまでは行政機関がサービスの利用者を特定し、サービス内容を決定する「措置制度」でした。支援費制度は、利用者である障害を持つ人たちが事業所と対等な立場で、サービス提供者を自由に選択し契約によってサービスの利用が出来る制度です。

Ｑ：対象なるサービスはどういったものがあるの？

Ａ：次のサービスが対象になります。

【居宅生活支援】

①居宅介護事業（知的・児童・身体）
　居宅において介護、家事等生活全般にわたる支援が受けられます。

②デイサービス事業（知的・児童・身体）
　通所により入浴、食事の提供、創造的活動、機能的訓練等の支援が受けられます。

③短期入所事業〔ショートスティ〕(知的・児童・身体)
　居宅において介護を受ける事が一時的に困難になった場合、更生施設等で短期入所ができ、支援が受けられます。

④地域生活援助事業〔グループホーム〕(知的)
　数名の障害者が世話人の支援（食事の提供、身の回りの世話など）を受けながら、共同生活を行うものです。

【施設訓練等支援】

①障害者更生施設（知的、身体)、②障害者授産施設（知的、身体)、③知的障害者通勤寮、〔①～③については、第２章　主な福祉施設の種類と内容について　参照のこと〕④身体障害者療護施設の利用が出来ます。

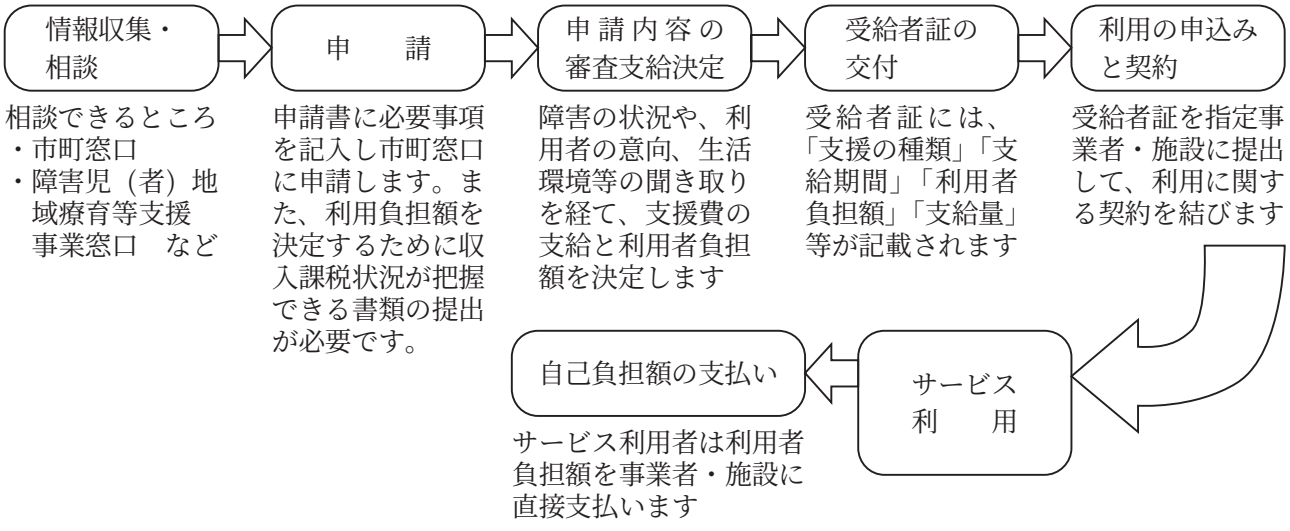
※児童福祉法にある施設への入所は、「措置制度」が継続されています。

Ｑ：高機能自閉症で療育手帳を取得していないのですが、支援費の対象になるのでしょうか？

Ａ：基本的には対象になりません。ただし、事例によってはご本人の状態等を考慮される場合もありますので、詳しくは市町障害福祉担当窓口にお尋ね下さい。

Ｑ：どうやって手続きすればいいの？

Ａ：基本的な流れを以下の図でご説明いたします



※詳しくは各市町の障害福祉担当窓口にご相談ください。

年金・手当

(平成17年３月現在)

障害を持つ方が受けられる主な年金・手当は以下の通りです。
各年金・手当の申請には、原則診断書が必要になります。ただし、障害基礎年金を除く手当については、各種障害者手帳を取得していれば、判定内容によって診断書がなくても対象になる場合があります。

区分／事業名	受給資格	内容	窓口
特別児童扶養手当	身体または精神に、中度以上の障害のある児童（20歳未満）を養育している父母または養育者（所得制限あり）	児童１人につき 重度の場合：月額 50,900円 中度の場合：月額 33,900円	各市町 児童福祉担当
児童扶養手当	次のいずれかの要件をそなえている18歳までの児童（中度以上の障害がある場合は20歳まで）を養育している母または養育者 ①父母の離婚等により父と生計を同じくしていない児童 ②父が死亡した児童 ③父が重度障害にある児童 ※公的年金を受給していたり、児童が公的年金の加算の対象になっている場合は受給できません（所得制限あり）	児童１人の場合 月額 41,880円（上限額） 児童２人の場合 月額 46,880円（上限額） 児童３人目以降は、 １人増えるごとに3,000円加算	各市町 児童福祉担当
障害児福祉手当	身体・知的または精神に重度の障害を有するため、日常生活において常時介護を必要とする20歳未満の障害児（所得制限あり）	月　額　14,430円 支給月　６・８・11・２月	各市町 障害福祉担当
障害基礎年金	①20歳以前に初診日のある障害を有する者 ②国民年金加入中に初診日のある障害を有する者 ③60歳～65歳未満で、日本国内に住んでいる間に初診日のある障害を有する者 ※②、③については納付要件があります。	国民年金法の障害等級表における １級　年額　993,100円 ２級　年額　794,500円 （障害等級は身体障害者手帳の障害等級とは異なります）	各市町 年金担当
特別障害者手当	身体・知的または精神に重度の障害を有するため、日常生活において常時介護を必要とする20歳以上の障害者（所得制限あり）	月　額　26,520円 支給月　６・８・11・２月 入院３ヶ月超は非該当	各市町 障害福祉担当

※その他、各市町独自の給付金制度がある場合がございます。詳しくは各市町の障害福祉担当窓口にお尋ね下さい

税の軽減・免除

(平成17年３月現在)

障害の程度に応じて、税金の軽減、免除が受けられます。以下の表に内容をまとめてみました。

なお、各種障害者手帳を取得していなければ対象になりません。また、療育手帳を取得していない高機能自閉症の方の場合も、精神障害者保健福祉手帳を取得することができれば税の軽減、免除の対象になります。

種類	内容		金額	窓口
所得税	障害者控除	本人または配偶者、扶養親族がＢ１、Ｂ２知的障害者または３級～６級の身体障害者、２級、３級の精神障害者	所得控除 27万円	各税務署
	特別障害者控除	本人または配偶者、扶養親族がＡ判定の知的障害者または、１、２級の身体障害者、１級の精神障害者	所得控除 40万円	
	同居特別障害者扶養控除	控除対象配偶者または扶養親族が同居している特別障害者	所得控除 35万円加算	
住民税	障害者控除	本人または配偶者、扶養親族がＢ１、Ｂ２知的障害者または３級～６級の身体障害者、２級、３級の精神障害者	所得控除 26万円	市町民税担当窓口
	特別障害者控除	本人または配偶者、扶養親族がＡ判定の知的障害者または、１、２級の身体障害者、１級の精神障害者	所得控除 30万円	
	同居特別障害者扶養控除	控除対象配偶者または扶養親族が同居している特別障害者	所得控除 23万円加算	
	前年の所得が125万円以下の障害者		非課税	
相続税	障害者が相続により財産を得た場合 (満70歳未満の人)		６万円×(70歳－障害者の年齢)の税額を控除、特別障害者の場合12万円(70歳－障害者の年齢)の税額を控除	各税務署
軽自動車税	各種障害者手帳（障害種別、等級によって該当しない場合があります）所持者または障害者と生計を同一にするものが所有し、下記の内容で利用する場合 ・もっぱら障害者のために生計を同一にするものが運転する ・障害者のみで構成される世帯の障害者を常時介護している者が運転する ・自ら運転する		全額免除 (ただし１人１台) 療育手帳(A、B1、B2) 身体障害者手帳(１級～６級) 精神障害者保健福祉手帳(１級～３級) ※市町により対象者が異なる場合があります。	市町民税担当窓口
自動車税			全額免除 (ただし１人１台) 療育手帳(Ａ、Ｂ１) 身体障害者手帳(１級～６級) ※障害部位、本人の運転の有無によって対象が異なります 精神障害者保健福祉手帳(１級) 【車の所有者及び運転者によって福祉事務所(療育、身体)、保健所(精神)が発行する生計同一証明書が必要】	県税事務所
自動車所得税	各種障害者手帳（障害種別、等級によって該当しない場合があります）所持者または障害者と生計を同一にするものが自動車を取得する場合			

※詳細につきまして、各担当窓口にお尋ね下さい。

成年後見制度

(平成17年３月現在)

「後見」という言葉の印象から、親が亡くなってから使うというイメージをもたれがちですが、そうではありません。

Q&A

Q：どのような人が利用できるのですか？

A：20歳以上の方で、認知症のある高齢者･知的障害者・精神障害者などの判断能力が不十分な方や、またご本人の判断能力がある場合でも将来に備えて、あらかじめ自分で後見人（ご本人に代わって法的に権限を与えられた者)を選んでおくことができます。高機能自閉症、アスペルガー症候群の方も利用可能です（ただし、判断能力がどの程度あるかどうかは鑑定により判断されます)。利用に当たって、療育手帳の有無は関係ありません。

Q：どのような制度なのですか？

A：上記のように利害の得失を判断することが難しい方（難しくなった方）の場合、ご本人が不用意に結んだ契約を本人の利益のために無効にしたり、後見人が契約や相続の手続きを行うなど、ご本人が安心して生活ができるように支援する制度です。具体的な例としては、以下のような内容があげられます。

○介護保険契約等の締結	○不動産の売却	○財産管理・身上監護
○不動産管理	○遺産分割協議	○相続放棄

この制度は平成12年4月に民法が改正され、いままでの準禁治産・禁治産宣告に代わって、施行されました。これにより、成年後見制度は戸籍への記載がなくなり、法務局へ登記することになりました。

Q：利用することでのデメリットはありますか？

A：判断能力が不十分な方を保護するという制度の性格上、デメリットという表現が適切かどうかは難しい判断ですが、成年被後見人になった場合、選挙権を失うということは知っておいた方がよいと思います（公職選挙法第11条)。

Q：成年後見制度を利用するには、どこに申し込めばよいのですか？

A：家庭裁判所に申し立てをし、およそ３ヶ月で審判がでます。

Q：どういった方が後見人になれるのですか？

A：約９割の後見人等はご本人の親族ですが、親族以外の第三者（弁護士・司法書士等）や、複数の人、法人を選任することも可能です。報酬については、後見人等が報酬付与の審判の申立を行うことにより家庭裁判所が決定します。

Q：成年後見制度には、どのような種類があるのですか？

A：法定後見制度と、任意後見制度があります。それぞれ以下にご説明します。

１.法定後見制度とは・・・

すでに判断能力が不十分になられた方の法律面・生活面の支援をするために、本人や親族などが家庭裁判所に申し立てをして、成年後見人等を選任してもらう制度です

①家庭裁判所に申立をします

申し立て先→ご本人の住所地の家庭裁判所
申立権者→ご本人、配偶者、四親等内の親族、検察官、市町長等
申立に必要なもの
○申立書　○収入印紙（申立手数料：１件600円）　○登記印紙（4,000円）　○通信費　実費
○戸籍謄本（ご本人及び成年後見人等候補者）　○戸籍付票（ご本人)
○住民票及び身分証明書（成年後見人等候補者)
○成年後見に関する登記事項証明書（ご本人及び成年後見人等候補者）　○診断書など

②審判手続

調　　査	家庭裁判所調査官が事情を尋ねたり、問い合わせをします
審　　問	必要に応じ家事審判官が直接事情を尋ねます
鑑定・診断	ご本人の判断能力について判断します

区　分	ご本人の判断能力	援 助 者
補　助	判断能力が不十分な方	補助人
保　佐	判断能力が著しく不十分な方	保佐人
後　見	判断能力を欠くのが通常の状態にある方	成年後見人

※鑑定費用が必要です（おおむね５～１５万円程度）

↓

③審　　判

申立てた類型や同意・取消権、代理権が適切かどうか結果がでます

↓

④成年後見登記

⑤援助開始

身の回りに配慮しながら､財産などを管理します

２．任意後見制度とは・・・

ご本人の判断能力がある時に、将来判断能力が失われたときに備え、あらかじめ自分で後見人を選んで、公正証書により契約をしておく制度です。

①公証役場にて公正証書を作成し、任意後見の契約･登記をします

公正証書には、将来、判断能力が不十分になった場合に、自分に代わって代理人に、次のようなことを支援してもらえることを定めておきます

・預貯金や不動産など財産の管理	・介護･福祉･医療サービスの利用手続きなど
・自分の意思を尊重した遺産分割の実行	

費　　用

・公正証書作成の基本手数料（11,000円）　・登記嘱託手数料（1,400円）　・登記印紙（4,000円）

・その他ご本人等に交付する正本等の証書代、通信費等

※代理人には、契約で定めた報酬を支払う必要があります

↓

（ご本人の判断能力が不十分になった時）

↓

②家庭裁判所に申し立てをして、任意後見監督人を選任してもらいます

費　　用

・収入印紙（申し立て手数料：１件800円）　・登記印紙（4,000円）　・通信費　実費

↓

③後見の開始

Q：成年後見制度について、もっと具体的に知りたいのですが。どんなところに問い合わせすればいいですか？

A：「第３章　その他の相談窓口」の「Ｉ人権擁護（成年後見制度）」の機関や家庭裁判所等があげられます。

（参　考）　社会福祉法人　兵庫県社会福祉協議会　成年後見制度　ご案内　パンフレット

近畿税理士会　成年後見制度　パンフレット

医療費助成

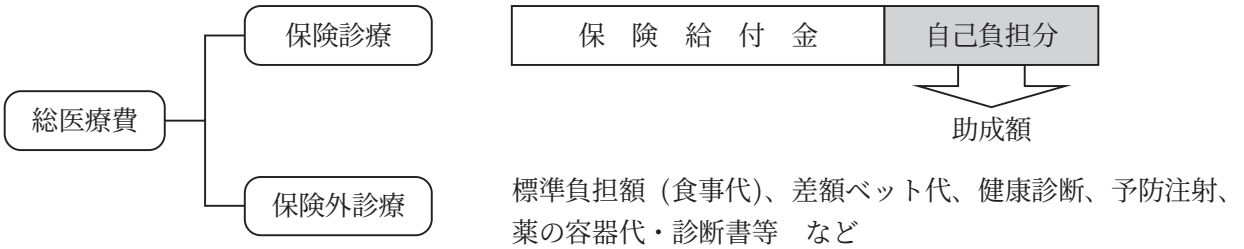
(平成17年３月現在)

障害の程度に応じて、医療費助成の制度があります。制度の詳細について以下のとおりです。

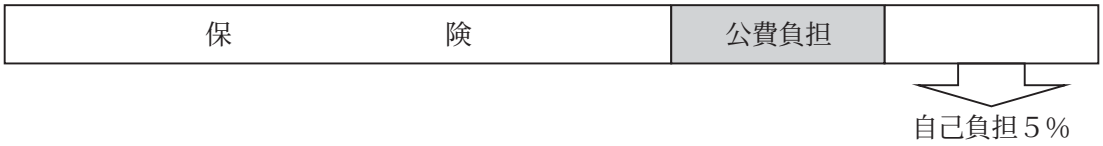
制 度 名	内　　容	対　　象	必要書類	窓　　口
心身障害者(児)医療費助成	老人保健に該当しない重度の知的障害者、身体障害者を対象に医療費の自己負担分を助成します。(所得制限あり)	国民健康保険、各種医療保険の被保険者、又は被扶養者で ①療育手帳Ａ判定の方 ②身体障害者手帳　１・２級の方	・健康保険証 ・療育手帳又は身体障害者手帳 ・転入者は所得証明書(本人・配偶者・扶養義務者)	各市町保険医療担当窓口(市町によって窓口が違います)
高齢心身障害者特別医療費助成	65歳以上で重度の障害者に、老人保健法による医療の受診に伴う一部負担金相当額が助成されます。(所得制限あり)	65歳以上で、国民健康保険、各種医療保険の被保険者、又は被扶養者で ①療育手帳Ａ判定の方 ②身体障害者手帳１・２級の方 ※市町によって、助成の内容や条件が異なりますので、詳しくは各市町窓口にお問い合わせください。	・健康保険証 ・療育手帳又は身体障害者手帳 ・認印 ・受給者本人名義の金融機関の口座番号のわかるもの（郵便局以外） ・転入者は所得証明書(本人・配偶者・扶養義務者)	各市町保険医療担当窓口(市町によって窓口が違います)
通院医療費公費負担制度	精神障害者の通院治療に要する費用を一部、公費負担されます。有効期限は２年間。(所得制限なし)	精神科領域の病気にかかっていて、精神科、神経科もしくは心療内科などの医療機関に定期的に通院している方	・通院医療を受けている主治医の診断書又は、精神障害者保健福祉手帳の写し	各市町障害福祉担当窓口(市町によって窓口が違います)

○心身障害者（児）医療費助成、高齢者心身障害者特別医療費助成において助成される医療費

医療機関の窓口で、健康保険証と医療費受給者証の両方を提示することにより、窓口で支払う保険診療分の自己負担額が助成されます。



○通院医療費公費負担制度において公費負担される医療費



※詳しくは各市町保健医療担当窓口、障害福祉担当窓口にお尋ね下さい

障害者雇用における施策、制度

(平成17年３月現在)

障害者の雇用の促進を目的とした施策や制度が多く設けられております。主な施策や制度をＱ＆Ａ方式で説明します。

【障害者雇用に関する主な施策】

Ｑ：事業主は障害者を雇用する義務があるの？

Ａ：「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、事業主は雇用している労働者に占める障害者の割合が一定率(障害者雇用率：1.8%) 以上であるようにしなければならないこととされています。

法定雇用障害者数	＝	企業全体の常用労働者の総数 (短時間労働者を除く)	×	障害者雇用率 民間企業（1.8%）

※法定雇用率が適応される民間企業の規模は、常用雇用者数56人以上の企業です。

Ｑ：高機能自閉症で、各種障害者手帳を取得していないが、「障害者」として雇用率の対象になるの？

Ａ：現状では、対象になりません。ただし、こども家庭センター（児童相談所)、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医又は障害者職業センターによって知的障害があると判定された場合は対象になります。

Ｑ：企業が障害者を雇用することによる、職場環境や作業設備の改善等にかかる経済的な負担への援助は？

Ａ：障害者雇用納付金制度という制度があります。この制度は、障害者雇用率未達成企業の事業主から納付金を徴収し、障害者雇用率を達成している企業に調整金を支給することにより、障害者雇用にかかる経済的な負担を軽減するなど、障害者雇用に伴う経済的な負担のアンバランスを調整しつつ、障害者雇用の水準を高めることを目的とした制度です。また、施設・設備の整備等や雇用管理を行う場合の費用についての各種の助成金が設けられています。

また、公共職業安定所などの紹介により、新たに障害者の雇い入れを行うとき、その雇い入れに係る人に支払った賃金の一定率を雇い入れた日から一定期間支給する、特定求職者雇用開発助成金が活用できます。

Ｑ：特例子会社って何？

Ａ：障害者の雇用義務は、原則として個々の事業主ごとに課せられます。しかし、事業主が障害者の雇用に特別な配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たしており厚生労働大臣の認定を受けた場合には、その子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなし、雇用率に計算できることになっています。

特例子会社の一例としては、親会社からでる従業員の衣類のクリーニングやメール便の仕分けを、障害を持った方が一手に請け負っている企業もあります。

【障害者雇用に関する各種援助】

Ｑ：職場実習の制度はあるの？

Ａ：主な職場実習制度については以下の表の通りです。

	トライアル雇用事業	職務施行法	ジョブコーチ (職場適応援助者)事業	職場適応訓練
目　的	ハローワークが紹介する対象労働者を事業主が短期間雇用し、その間、事業主と対象労働者との間で、業務遂行に当たっての適正や能力を見極め、相互理解を深めていき雇用のきっかけ作りを図ることを目的とする。	地域障害者職業センターの職業評価の一つで、事業所において障害者が実際の作業を行う事によりその適正・能力の把握を行う。	知的障害者や精神障害者など就職が困難な障害者に対して職場にジョブコーチを派遣してきめ細かな人的支援を行う。	知的、身体、精神障害者の能力に適した作業についての実施訓練を行い、職場環境に適応することを容易にし、訓練終了後は事業所に引き続き雇用をしてもらうことを目的とする。

期　間		原則３ヶ月	最長３週間	標準３ヶ月～４ヶ月	通常訓練：６ヶ月 (重度障害者１年) 短期訓練：２週間 (重度障害者４週間)
対象	療育手帳あり	○	○	○	○
	精神手帳あり	○	○	○	○
	手帳なし	○	○	○	×
実施機関		ハローワーク (公共職業安定所)	兵庫障害者職業センター	兵庫障害者職業センター	ハローワーク (公共職業安定所)

Q：「ジョブコーチ」ってどういった事をしてくれるの？

A：ジョブコーチ（職場適応援助者）については以下の通りです。

①対象となる障害者－ジョブコーチによる支援が必要な障害者

②所　　属－兵庫障害者職業センターに所属するジョブコーチ（配置型ジョブコーチ）と地域の社会福祉法人、特定非営利活動法人等の機関に所属するジョブコーチ（協力機関型ジョブコーチ）の支援を実施している

③支援内容－(障害者への支援)

・仕事への適応（作業効率の向上、ミスの軽減）するための支援

・人間関係や職場でのコミュニケーションを改善するための支援

(事業主への支援)

・障害の理解と、障害に配慮した対応方法についての助言・援助

・作業内容、作業工程、作業補助具などの設定についての助言・援助

・効果的な指導法についての助言・援助

・指示、注意の仕方についての助言・援助

・休憩時間の障害者の交流、家庭との連携方法などについての助言・援助

(家族への支援)

・対象障害者の職業生活を支えるために必要な支援方法等についての助言・援助

④支援期間－個別に設定するが、標準は２～４ヶ月（最長８ヶ月）

※支援は永続的に行うものではなく、上司や同僚に適切な支援方法を伝えることにより職場内での支援が継続されることを目的としています。そのため、職場適応上の課題が改善され、職場内での支援が適切に行われるようになった段階で支援は終了します。

⑤支援終了後のフォローアップ－支援終了後も必要なフォローアップを行う

参考文献：「障害者の雇用支援のために」－事業主と障害者のための雇用ガイド－
独立行政法人　高齢・障害者雇用支援機構

「知的障害者就労支援マニュアルQ＆A」
社団法人　日本知的障害福祉連盟
就労支援担当者（ジョブ・コーチ）に関する調査研究委員会

第5章
付　　録

サポートブック、プロフィールブックを作ってみよう

サポートブックって？

サポートブックは、障害の種別に関わらず、お子さんが初めて接する人（例えば、ボランティアや新しい担任の先生など）に、お子さんの特性や接し方について知ってもらうための情報を書いておくものです。

まず、名前や連絡先、障害特性など基礎となる情報を書いておきます。そしてお子さんの好きな遊びや苦手なもの、コミュニケーションのとり方（何か要求があるときにはどんな表現をするか、活動を拒否したいときにはどんな行動をするか等)、パニックへの対応などについて書いていきましょう。

サポートブックは、最初に作成したものを一生涯使うというものではありません。お子さんの発達や成長に応じて、できるようになったところは書き換えていきましょう。作ったものを残しておくことで、お子さんの成長の記録にもなります。

また、最初からオールマイティに活用できるサポートブックを作ることはとても力のいることです。必要なときに、必要な量だけ、相手に伝えておきたいことを書いてみましょう。そして実際に使ってみて、見てもらった人の意見を参考にバージョンアップさせていくことがコツです。

プロフィールブックって？

プロフィールブックは、お子さんが生まれる前から今までの発達の様子を記録しておくものです。歩き始めはいつ頃からか、ことばはいつ頃から出始めたかなど、心身の成長の記録とともに、お子さんの発達で気になったことなどを書いておきましょう。また、健診ではどうだったか、医療機関にかかったことがあるか、発達検査を受けたことがあるかなどについても書いておきましょう。専門的な助言を受けた場合はそのことも記入しておきます。

こうした情報は、新しく医療機関や療育機関などにかかる場合や就学時などに、支援者がお子さんの発達の様子を正しく知り、適切な支援プログラムを考えていくためにとても役立ちます。サポートブックと同様、お子さんの成長や発達に応じて内容を書き加えていきましょう。

ここでは、サポートブックとプロフィールブックの参考例をご紹介します。どちらもあくまでも参考です。ご家族、専門家と話し合いながら、お子さんの成長や発達にあわせて、作る人も楽しみながらオリジナルのブックを作っていきましょう。

※サポートブックの例は、兵庫教育大学　井上雅彦先生の研究室のご協力のもと、作成しています。
※詳細につきましては、ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバーまでご相談ください。

（犬飼　陽子）

プロフィールブック（例）

○川　花子　プロフィール

平成17年　月　日作成

1．生育暦・診断暦

氏名 ： ○川　花子 （まるかわ　はなこ） 保護者氏名 ： ○川　一子		性別 ： 女 生年月日 ： 平成○年□月☆日　（△歳）	
		所属 ： A市立B小学校　○年	
家族構成 ： 父（35歳）、母（34歳）、弟（２歳）			
発達・診断の記録	発達の様子や気になったこと	主にかかった医療機関・療育機関	
		機関名称・担当	主な内容
周産期	特に問題はなかった		
出生時	体重3,000グラム。	○○病院産婦人科（○○先生）	
０歳～３歳	生まれてすぐは特に問題がなかったが、はいはいは１歳半、歩き始めは２歳だった。		
１歳半健診	目線があいにくかった。 歩行が遅いことを指摘された。	○歳○ヶ月時 ○○病院小児科（○○医師）	広汎性発達障害の疑いがあるといわれる
○歳○ヶ月時 ３歳児健診	ことばが出始めた ことばの遅れを指摘された。		
	単語のみで、要求するときは親の腕を欲しいもののほうへ持っていくようにしていた。	○歳○ヶ月時 ○○病院小児科（○○先生）	知的障害を伴う自閉症と診断される ○○発達検査
○歳○ヶ月時	○○通園施設に入園。○○クラス。	○歳○ヶ月時	
○歳○ヶ月時	２語文が出始める。	○○センター（○○心理士）	□□発達検査
小学校入学	○○小学校に入学。○○クラス。		

2．発達検査・知能検査について

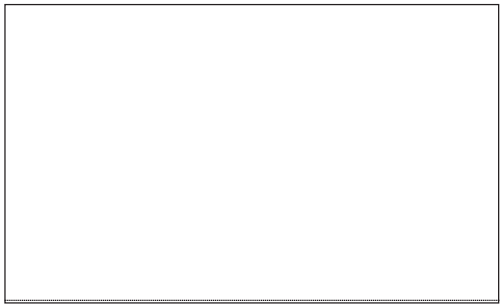
検査名	実施時期	機関	結果
○○発達検査	○年○月○日	○○病院	
□□発達検査	○年○月○日	○○センター	

3．コミュニケーション・手や指の使い方について

表出（要求や拒否のしかた、発声や発語の様子など）	「ママ、おかし」、「トイレ、いく」など２語文程度。きらい・やりたくないときは「いーや！」と言う。
理解（指示の理解、指差しの理解など）	目の前にあるもので「えんぴつとって」はわかる。指指しは目の前にあるものだと２つのなかから指差したほうを取ってわたせる。
手や指の使い方	スプーンやフォークは握って持つ。鉛筆は握りもちでなぐり書きができる。

※　プロフィールブックに書いておく項目は必要に応じて工夫しましょう。お子さんの発達の様子に応じて、支援者に伝えておいたほうがよいと思うことを書いておきましょう。

サポートブック



ふりがな　まるた　はなこ
氏名　○田　花子　（男・女）○

呼び名　はーちゃん　※呼ばれて振り向く呼び方

学校・園・学年　Ａ市立Ｂ小学校　○年

生年月日　○年　□月　☆日　△歳

血液型　Ｄ型　体重　○kg

連絡先(保護者など)

優先順位①　まるた かずこ

名前　○　田　一　子　(母)

○○－×○×－△△△△（自宅）

○○－×××－□□□□（携帯）

住所　Ｅ県Ｆ市Ｇ町○丁目××－×

優先順位②　まるた　たろう

名前　○　田　太　郎　(父)

○○－△△△－××××

(株)○×商事　呼び出し

住所　Ｅ県Ｈ市Ｊ町○丁目×－×－×

優先順位③　まるた　じろう

名前　○　田　次　郎　(祖父)

○△－□□□－××××

住所　Ｅ県Ｆ市Ｌ町○丁目△－△－△

緊急連絡先(医療機関など)

病院名　Ｗ病院

科　○○科

主治医　Ｔ野Ａ夫先生(不在時はＳ原Ｒ子先生)

○○－△△△－□□□□

所在地　Ｅ県Ｆ市Ｇ町○丁目×－×

連絡先(学校・園など)

学校名　Ａ市立Ｂ小学校

学年・組　○年□□組

担任名　えむだ　びいこ　Ｍ田　Ｂ子先生

小学校　○○－△△△－××××

所在地　Ａ市Ｂ町○丁目□－□－□

障害名・程度・障害の特徴

・花子は自閉症です。

※診断名がない場合はそのことを記入。・

療育手帳は　Ａ判定。

・この障害の特徴は、①対人関係の発達の偏り、②コミュニケーション能力の偏り（特に言語能力)、③反復的な行動や強いこだわりを伴う想像力の発達の偏りです。

・これらは脳の中枢神経の障害で、育て方や家庭環境が原因ではありません。

※特に対人的なことについて書いておくと、初めて接する人が子どもさんに接しやすくなります。

・花子の場合、①話しかけても目線をあわさない、②ミニカーを並べることのこだわり、③会話が一方的で、こちらが言ったことと同じことを繰り返して言う、等の特徴があります。

・運動障害はありませんが、相手の動きを真似ることやルールの理解が難しいので、スポーツに参加することが苦手です。

余暇・遊び・好きなこと

【室内】

・プラレールの線路をつなげ,電車を並べること。
・ウルトラマンのまねをすること。
・絵本を読んでもらうこと。(動物が出てくるもの)
・ビデオを見ること。(しまじろう)
・テレビゲームをすること。(スーパーマリオ)

【屋外】

・砂場遊び。
・花を摘む。
・ブランコに乗って大人に押してもらうこと。
・電車を見に行くこと。

【注意点・配慮点】

・同世代の子どもとひとりではうまく関われないので、大人がそばについています。
・活動終了３分程度前に、「○○ちゃん、あと３分でおわり」と伝えると、活動を終えやすいです。

トイレ

※和式・洋式
※男子トイレでは小の時／大の時
※女子トイレは生理の始末など

【小】配慮点

・行きたいときは自分から「おしっこ」と言います。大人が付き添ってください。
・ファスナーを下げる練習をしています。便器の前で「ファスナー下ろしてね」と声をかけるとうまくいきます。

【大】配慮点

・和式トイレでは大便ができません。
・洋式トイレで、自分でパンツを下ろして便座に座ることができます。自分でペーパーを適量取って１回拭くことはできます。便がやわらかい時は、大人が拭くのを手伝っています。

水分補給・おやつ

【すきなもの】

※どんな物が好きか書いておきましょう。

・スポーツドリンク（ポカリスエット等)
・お菓子全般（スナック菓子、クッキー、せんべい等。特にポテトチップスが好き。)

【配慮点】

・自分で量を制限できないので渡す前に「○個でおしまい」と約束しています。
・飲み物は１回200cc 程度の缶またはパックのジュースをお願いします。

【きらいなもの】

・あんこ（饅頭、アンパンなど)
・くだもの
・家の外では、お茶を飲みません。(水を飲ませてください。)

【×食べてはいけないもの】

赤字で記入

・たまご・乳製品（牛乳,ヨーグルトなど)

食事（１)

【すきなもの】

※家庭での料理の他、外食では何が好きかも書いておきましょう。

・肉類、特にハンバーグ。となりの人の分まで手を伸すことがあるので、席を離しています。
・ふりかけが大好きです。白ご飯にかけると喜んで食べます。

【きらいなもの】

※嫌いなものはどうしたら食べれるか、外では食べないものについても書いておきましょう。

・野菜（刻んだものは好きなものに混ぜて食べると食べることができます。)
・ケチャップ味の食べ物（スパゲティは和風なら食べます。)

【×食べてはいけないもの】赤字で記入

・玉子アレルギーのため、マヨネーズなど玉子が少しでも入っていると食べられません。

食事（２）

【注意点・配慮点】

・外食ではたくさん注文しすぎることがあります。事前に金額の枠を指定しています。
・おはしは右手で持ちます。細かいものは上手くはさめないので、はしを使おうとしたらほめています。
・時間があるときは「おはし使おうね」と励ましながら、おはしを指差ししています。
・時間がないときは、タオルを手元においておくと、自分で手をふきます。
・骨のある魚は自分で食べることができません。身をとってあげると食べることができます。
・目の前にあるものを全部食べようとします。一人分以上あるときは、事前に別の皿にうつしています。
・自分が食べ終わったあと、まわりを待つことが苦手です。かばんの中の時間つぶしグッズを使うように伝えてください。

※どんなことをしたらよいか、具体的に援助の方法を記入しましょう。

外出・移動

【できること】

・車に乗ることが好きです。
・バスや電車は窓側だと景色を見て静かに過ごせます。
・信号を見て、横断歩道を渡ることができます。
・座りたがりますが、家から学校まで歩いて通っています（１㎞程度)。

【配慮点】

・駅や街中、車の多い所では、大人が手をつないでいます。
・行き先を写真で見せてから移動しています。
・エレベーターでは、ボタンをすべて押そうとするので、手をつないでなるべくボタンから離れた位置に立ってください。

※気になるものはないか、どんな交通手段を利用することが多いか、危険な行動はないか、書いておきましょう。

コミュニケーション・表出

※要求・選択・拒否の時、それぞれどんな様子かを具体的に書いておくと対応してもらいやすくなります。

・２～３語文程度（例：「先生、トイレ行く」）の要求や、拒否（例「いや、しない。」）ができます。
・選択をさせるときは、言葉だけで言うよりも、絵に書いて、「どっち？」と聞くと本人に伝わりやすいです。
・欲しいものの名前がわからないときは、大人の手をとって、指し示そうとしたり、連れて行こうとしたりします。
・好きな話題は「ウルトラマン」や「電車」です。会話として続きませんが、本人の興味をひくことができます。好きなキャラはセブンで、絵を描いたり、テーマソングを歌ったりします。

※言語なのか、サインなのか、クレーンなのか、絵カード、写真を用いるのかなど、子どものコミュニケーションの取り方を振り返って、「例えば」を入れると分かりやすくなります。発語のない場合、「首を横にふる」など、どんな行動をするかを書きます。

コミュニケーション・理解

※指示・許可・禁止、ルールの理解について書きます

・話しかけるとき、注意をひくときは、「たろーちゃん！」とはっきりした声で名前を呼んでから、指示をしています。
・具体的な指示の例

(例)「ボールを片付けてね」×
「ボールをとってください。カゴに入れてください。」○
「もうちょっとで遊びはおしまいだよ。」×
「時計を見てね。長い針が３のところにきたら、おかたづけします。」○

・ひらがな、カタカナは読めますが、文章全体の意味を理解するのは苦手なので、単語と動詞でわかりやすく伝えています。

(例)「今日は晴れだからお外が良い？」×
「ボールで遊ぶ？トランプする？」○

・してはいけないことは、きっぱり「ダメ！」と言って、手で×を示すとわかりやすいです。

こだわりやパニック

【きっかけ】
①オートバイ、工事現場、掃除機の音
②今、熱中していることを止められる

【行動】
①耳をふさいで「アー」と大きい声を出しながら走って逃げようとする。
②床に寝転んでのけぞり、声をあげて泣く。

【対応】
①手をつないで、「大丈夫」と声かけしながら、手をつないで静かな場所へ連れていきます。事前に、「○○の音がするよ」と予告すると大丈夫になってきました。
②５分くらいで泣き止みます。無理に起こそうとせず、落ち着いてから好みの活動に誘っています。

※１枚で足りない場合は、カードを足していきましょう。
※「予防」のためにどうすればよいか、「おこってしまったとき」はどうすればよいかを具体的に書きましょう。

きがえ

【できること】
・上着は前を下向きに、ズボンは前を上向きに並べると自分で着ることができます。
・くつ下は、自分ではきますが、かかとが上にきていたら、まわすのを手伝っています。
・くつも左右が反対になることがあるので、その時は声かけをしています。

【配慮点】
・少し動くとすぐにくつ下を脱ごうとします。脱いだくつ下はポケットに入れるように声かけをしています。
・ぼうしやフードはかぶるのが苦手です。
・袖口などが少しぬれただけで着替えようとします。着替えが入ったバックを渡しています。

おふろ

【できること】
・「体を洗ってね」と声かけしたらひとりで洗えます。
・湯船に長くつかることは苦手です。１から50まで大人が一緒に数えると入っていられます。
・ふろから上がったあと、体をふくことは１人でできます。

【配慮点】
・シャンプー、リンスは自分でわかりません。大人が取って、手に乗せています。
・シャンプーを流すときは下を向いて目をつぶっていますのでお湯をかけてください。
・シャワーはかぶれますが、自分で蛇口をひねることはむずかしいので、手伝っています。

洗面・はみがき

【できること】
・歯みがきは、「歯をみがいてね」と言って歯ブラシをわたすと、自分でできます。
・「顔を洗ってね」と声かけすると、水を出して顔をぬらすことができます。

【配慮点】
・歯みがき粉はなしで歯磨きしています。
・水で顔をぬらすことができたら、手にタオルをわたすと自分で拭くことができます。

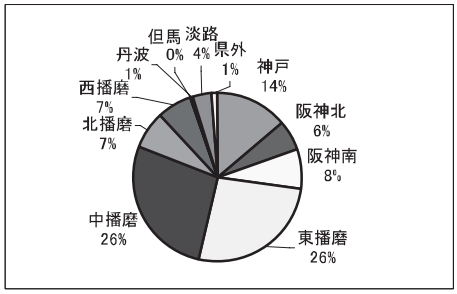
※ひとりでできることはどんなことか、水を顔に付けるのが苦手な場合は顔ふきはできるか。
※はみがきは自分でできるか、大人にされるのを嫌がるのか、嫌がったときはどうするか、書いておきましょう。

自閉症スペクトラムのお子さんに関するアンケート集計

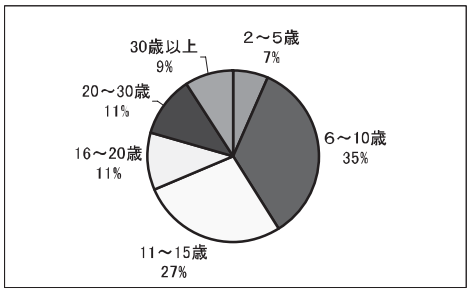
※このデータは、あくまで今回アンケートを実施した方たちの集計であり、県内の全般的な傾向を指すものでないことを予めご理解ください

対象者数：194名［(社団) 日本自閉症協会兵庫県支部、同　高機能ブロック　兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会ピュアコスモ他］

□お住まいの地域について



□お子さんの年齢について



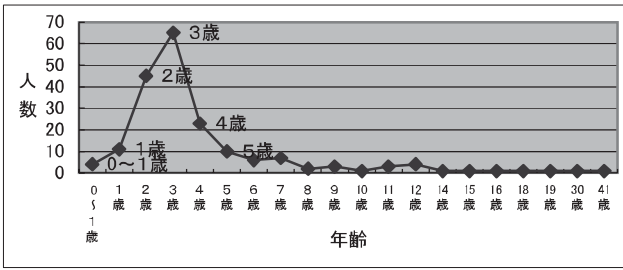
Q１．診断名を教えてください　※複数回答可

診　断　名	人　数
自閉症	139
高機能自閉症	8
アスペルガー症候群	9
高機能広汎性発達障害	5
広汎性発達障害	10
特定不能の広汎性発達障害	6
知的障害	17
その他	4
未診断	6
計	204

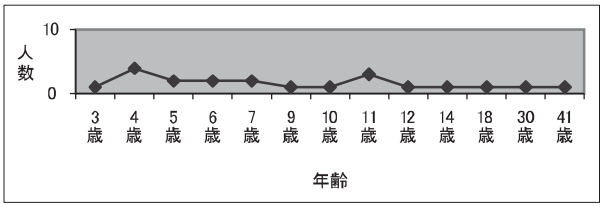
（参考１）１歳未満で診断された方の診断月齢（４名該当）

診断年齢(月齢)	人　数
７ヶ月	1
８ヶ月	1
１０ヶ月	1
１歳未満だが無記入	1
計	4

Q２．お子さんが何歳のときに、診断を受けられましたか



（参考２）「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」「高機能広汎性発達障害」と診断を受けたときの年齢（対象22名/内1名は無記入）



（対象者数は少ないが）21人中、３～４歳の時に診断を受けらた方は５名で、一方、5歳以降での診断が16名となっている。

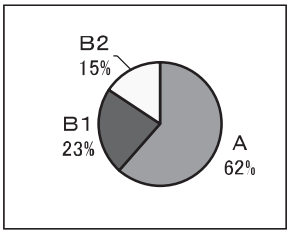
Q３．診断を受けられた機関はどこですか　※複数回答可

機　関　名		人　数	
病院	小児科	83	125
	精神科	32	
	神経科	10	
保　健　所		23	
こどもセンター		22	
他		19	
未　診　断		7	
計		196	

Q４．療育手帳をお持ちですか　※複数回答可

回　答　内　容		人数
もっていない		33
もっている		155
その他	精神障害者保健福祉手帳	2
	身体障害者手帳	2
無　記　入		6
計		198

（参考３）「もっている」と回答された方の手帳判定の内訳



Q５．現在及び過去に在籍している（していた）所属についてお聞かせ下さい

（１）就学前の所属についてお聞かせください。

所　属　先	人数
保育園	45
幼稚園	59
児童通園施設	29
在宅	3
その他	4
複数に所属	43
計	183

（参考４）複数に所属された方の内訳

所　属　先	人数
保育園と幼稚園	25
保育園と児童通園施設	9
幼稚園と児童通園施設	4
保育園と幼稚園と児童通園施設	3
幼稚園と在宅	1
幼稚園とその他	1
計	43

（２）学齢・思春期の所属についてお聞かせください。

①小学校の所属について

所　属　先	人数
通常学級	38
特殊学級	99
養護学校	29
盲学校	1
途中から所属先を変更	17
計	184

（参考５）途中から所属先を変更された方の内訳

所　属　先	人数
通常学級→特殊学級	9
特殊学級→養護学校	5
特殊学級→通常学級	1
その他	2
計	17

②中学校の所属について

所　属　先	人数
通常学級	18
特殊学級	31
養護学校	40
盲学校	1
途中から所属先を変更	1
計	91

（参考６）途中から所属先を変更された方の内訳

所　属　先	人数
特殊学級→養護学校	
計	1

（参考７）小学校時には「特殊学級」に在籍されている方が53％であるのに対し、中学校に移行すると34％に減少している。反面、「養護学校」が16％から45％に増加している。
小学校時に「通常学級」に在籍していた方は21％であり、この場合は中学校に進学しても20％とほぼそのまま「通常学級」に進学している。

③高等学校の所属について

所　属　先	人数
全日制	8
養護学校	34
通信制	1
定時制	2
途中から所属先を変更	2
計	47

（参考８）途中から所属先を変更された方の内訳

所　属　先	人数
全日制→通信制	1
全日制→定時制	1
計	2

（３）専門学校の所属について　０人

（４）大学の所属について

所 属 先	人数
大　　学	4
短　　大	2
計	6

（参考９）大学等の内訳

所　属　先	人数
法学系大学	1
外国語系大学	1
音楽系大学	1
被服科	1
短大	2
計	6

（参考10）通学されている方の障害種別

障　害　種　別	人数
高機能自閉症	2
アスペルガー症候群	2
自閉症	2
広汎性発達障害	1
計	7

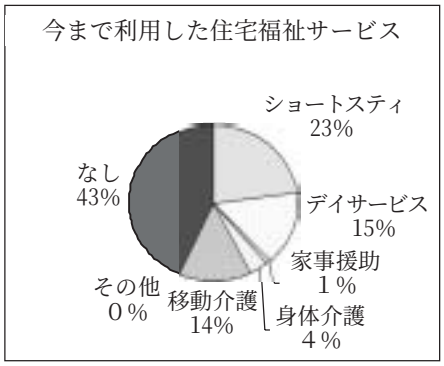
（５）成人期のお子さんをお持ちの親御さんにお伺いします。現在の所属等についてお聞かせ下さい

所　　属　　先		人数
就　　労		4
パート等		1
通所施設	授産施設	18
	作 業 所	9
	通所更生施設	3
入所施設		5
グループホーム等	グループホーム	1
	生活ホーム	1
在　　宅		2
そ の 他		1
計		45

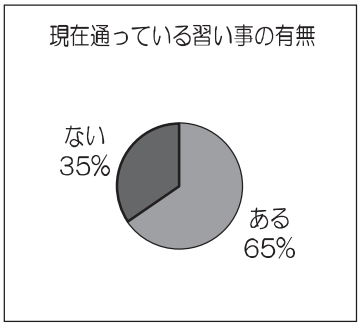
（参考11）就労・パートをされている方の職種

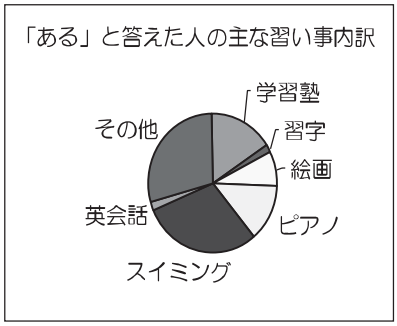
職　　種	人数
合成樹脂鋳型押し	1
コンテナ組立、ピッキング	1
手芸品販売	1
運送手伝い	1
無　記　入	1
計	5

Q６．　今まで利用された在宅福祉サービスがあればお聞かせ下さい。

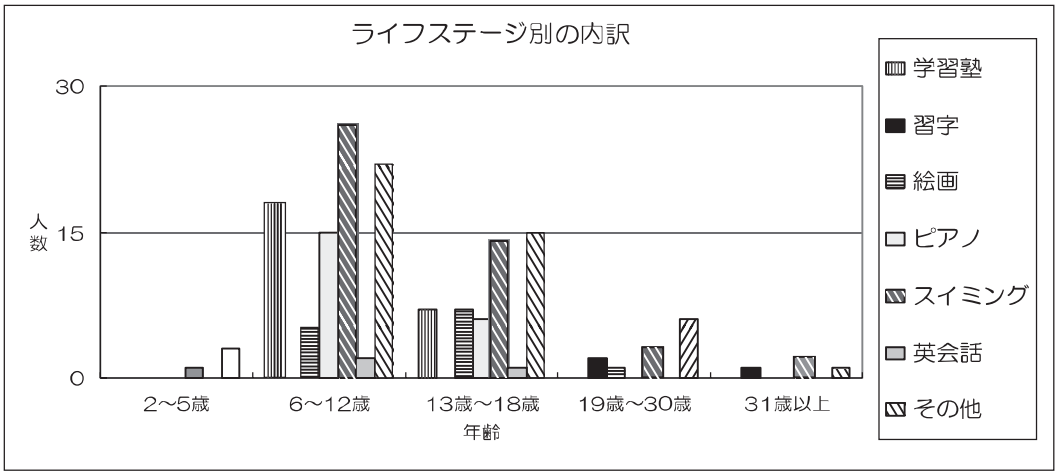


Q７．　現在、通っている習い事はありますか。





その他
- リトミック　・空手　・公文式
- ボーリング　・和太鼓　・料理
- ソフトボール　・歌　・そろばん
- ドラム　・作曲　・卓球
- 家庭教師　・体操



Q８．　余暇として、どのような過ごし方をしていますか。

余暇ランキング

現在の年齢	１位	２位	(２位同数)	３位
２～５歳	ビデオ	テレビ		音楽鑑賞
６～12歳	ビデオ	テレビ		ゲーム
13～18歳	ビデオ	音楽鑑賞	ゲーム	
19～30歳	テレビ	ビデオ	散歩	
31歳以上	音楽鑑賞	散歩		テレビ

その他　余暇の紹介
- ぬり絵　・カルタ　・山歩き
- クロスワード　・釣り　・トランプ
- カラオケ　・工作　など

Q9．　お手伝いで取り組まれていることはありますか。

お手伝いランキング

お手伝い	１　位	２　位	(２位同数)	３　位
２～5歳	配　膳	野菜皮むき		
６～12歳	配　膳	洗濯物たたみ		野菜皮むき
13～18歳	配　膳	洗濯物たたみ		野菜皮むき
19～30歳	洗濯物たたみ	配　膳		洗濯物干し
31歳以上	食器洗い	掃除機かけ	洗濯物たたみ	

その他　お手伝い紹介
- 花の水やり　・洗濯物とりこみ
- ゴミだし　・雨戸の開け閉め
- ビデオ録画セット　など

「先輩父母からのメッセージ　－自由記述－」

今までのお子さんへの関わり方や体験談など、よろしければお書きください。

(アンケートより抜粋)

・“ 自閉症と告知された時 ”、その頃が一番辛かったなあと思います。なんで私が…と泣き暮らしていました。子どもの気持ちなんて考える余裕がありませんでした。そんなとき、地元の親の会に参加させてもらって、先輩のお母さんの明るいことにビックリしました。自閉症の子を抱えて、何でこんなに明るく生きていけるの？と思いましたが、毎日暗く落ち込んで暮らしている自分を反省しました。自閉症の子どもと楽しく生きていくためには、親のケアも大事なのではと思います。親の会や講演会等に積極的に出かけ、いろいろな人たちと話をして、家の中に閉じこもらないように気をつけることも大切だと思いました。（５歳女子の母より）

・「こだわりは最大の武器」と心に留めおき、常に何かに活かせないかと考えています。少し方向を変えると特技や余暇につながるので、こだわりの発見や対処も楽しくなります。（６歳男児の母より）

・障害がわかるまでは、言うことを聞かない自分の子どもとどう接していけばよいのかわかりませんでした。しかし障害がわかり、本を読んで自分の子どもに合った方法がわかってからは子育てがかなり楽になりました。ふつうの子どもさんが20歳で一人前に成長するのなら、うちの子は30歳で一人前になってくれたらいいな、くらいの気持ちで子どもとともにゆっくりと毎日を歩んでいきたいと思っています。（６歳男児の母より）

・できないものをやるよりは、好きなものやできることを少しずつ発展させていくことが良かったと思います。１、２年生では漢字がすごく苦手で全くできませんでしたが、3年生になって地図に興味を持つとすごいスピードで漢字を覚え、４年生までの漢字を全て覚えました。苦手なことに取り組むのはしんどいことです。興味が出るまで待つことを教えられました。おかげで、自分は勉強が好きと思っているようで、次の課題にも意欲的に取り組めるようになりました。（９歳男児の母より）

・ひどい靴ずれになっても、頭をぶつけてこぶができてもケロッとして泣かないのに、曲の途中でカセットテープを止めると大泣き…不思議な行動のひとつひとつに、彼なりの理由があることがわかりはじめ、その謎解きの手がかりは、当時出版され始めた「本人の手記」でした。「小学校のグランドで後ろから飛んできたボールに驚いて怒り、目の前にいる子にくってかかった」「マット運動の前転を怖がる」などのエピソードを先生からの連絡帳で知ったときも、ひょっとすると「○○○と感じているのかもしれない」と推理することから、具体的な手立てを考えることができました。近頃は自分の思いを自分で伝えてくれるようになったので、彼と一緒に彼らしく世の中と折り合いをつけるにはどうするか考えています。(13歳男子の母より)

・パニックを起こしそうな前兆（手をかむ）のとき、「大丈夫だよ」と言って肩を軽くたたきながら、なだめてあげるとかなり落ち着きました。パニックを起こしたとき、絶対にしてはいけない親の行動は、周囲の目を気にしすぎて「泣きやみなさい！」といった言葉かけばかりを連呼することだと思いました。子どもはつらい気持ちをわかってもらえず、もっとパニックがひどくなることが多かったです。(15歳男子の母より)

・小学校の低学年まで会話も無理で、自傷行為も激しく、今の彼からは想像もできない状態でした。彼の気持ちをどのように理解してやれば良いのか、と悩みに悩み、親も不安定になってしまいました。彼とのやりとりの中から学んだことは、まず親が精神的に落ち着いて、じっくり我が子を見る目をもつことだと思います。39歳の現在も彼なりの成長をしております。今、社会人として働くことの喜びを感じているようです。自己中心の彼が人に対しての気遣い、優しい気持ちも育ってきております。これからも我が家の方針で、あせらず、あきらめず、彼の成長を見守っていきたいと思います。(39歳男子の母より)

全国の自閉症・発達障害支援センター　一覧（平成16年９月現在）

自閉症・発達障害支援センターは、発達障害者支援法の施行（平成17年４月１日）を受けて、「発達障害者支援センター」に名称変更されていく予定です。

	センター名称	所在地	
1	北海道自閉症・発達障害支援センター　あおいそら	北海道	〒041−0802　函館市石川町90−７ TEL 0138−46−0851　FAX 0138−46−0857
2	埼玉県自閉症・発達障害支援センター　まほろば	埼玉県	〒350−0813　川越市平塚新田東河原201−２ TEL 049−239−3553　FAX 049−233−0223
3	千葉県自閉症・発達障害支援センター　ＣＡＳ	千葉県	〒260−0018　千葉市中央区院内１−２−７　アマノビル５Ｆ TEL 043−227−8557　FAX 043−227−8559
4	大阪府自閉症・発達障害支援センター　アクトおおさか （平成17年３月15日より、右記の住所に移転）	大阪府	〒569−0077　大阪府高槻市野見町３−14 第２高谷ビル２Ｆ TEL 072−662−0055　FAX 072−662−0056
5	滋賀県自閉症・発達障害支援センター　いぶき	滋賀県	〒526−0043　長浜市大戌亥町415−１ TEL 0749−65−2191　FAX 0749−65−2191
6	おかやま自閉症・発達障害支援センター	岡山県	〒703−8555　岡山市祇園地先 TEL 086−275−9277　FAX 086−275−9277
7	山口県自閉症・発達障害支援センター	山口県	〒753−0302　山口市大字仁保中郷50 TEL 083−929−5012　FAX 083−929−5023
8	熊本県自閉症・発達障害支援センター	熊本県	〒869−1217　菊池郡大津町森54−２ TEL 096−293−8189　FAX 096−293−8239
9	仙台市発達相談支援センター　アーチル	仙台市	〒981−3133　仙台市泉区泉中央２−24−１ TEL 022−375−0110(代)　FAX 022−375−0142
10	よこはま自閉症支援室	横浜市	〒224−0041　横浜市都筑区仲町台１−２−31 ヒルトップス301 TEL 045−949−3744　FAX 045−943−9228
11	三重県自閉症・発達障害支援センター	三重県	〒514−0818　津市城山１−12−３ TEL 059−234−6527　FAX 059−234−6527
12	東京都自閉症・発達障害支援センター　ＴＯＳＣＡ	東京都	〒156−0055　世田谷区船橋１−30−９ TEL 03−3426−2318　FAX 03−3706−7242
13	富山県自閉症・発達障害支援センター　あおぞら	富山県	〒931−8443　富山県富山市下飯野36番地 TEL 076−438−8415　FAX 076−426−1588
14	愛知県自閉症・発達障害支援センター	愛知県	〒480−0392　愛知県春日井市神屋町713−８ 愛知県心身障害者コロニー内 TEL 0568−88−0811 内線(2222)　FAX 0568−88−0964
15	ひょうご自閉症・発達障害支援センター　クローバー	兵庫県	〒671−0122　兵庫県高砂市北浜町北脇519 TEL 0792−54−3601　FAX 0792−54−3403(法人)
16	福岡県自閉症・発達障害支援センター　ハレルヤ館	福岡県	〒820−1111　福岡県嘉穂郡嶺田町大字勢田字新立119-26 TEL 09496−6−2100　FAX 09496−6−2101
17	佐賀県自閉症・発達障害支援センター　結	佐賀県	〒841−0073　佐賀県鳥栖市江島町字西谷3300−１ TEL 0942−81−5728　FAX 0942−81−5729
18	北九州市自閉症・発達障害支援センター　つばさ	北九州市	〒802−0803　北九州市小倉南区春ヶ丘10−２ TEL 093−922−5523　FAX 093−922−5523
19	宮崎県自閉症・発達障害支援センター	宮崎県	〒889−1601　宮崎県宮崎郡清武町大字木原4257−７ 県立ひまわり学園内 TEL 0985−85−7660　FAX 0985−85−7661
20	鳥取県自閉症・発達障害支援センター　エール	鳥取県	〒682−0854　鳥取県倉吉市みどり町3564−１ 県立皆成学園内 TEL 0858−22−7208　FAX 0858−22−7209

【協力執筆者一覧】(50音順、敬称略)
井上　雅彦　　兵庫教育大学　助教授
岩本四十二　　(社団)日本自閉症協会　兵庫県支部　会長
川崎　圭子　　知的障害者更生施設　あかりの家　主任支援員
小寺沢敬子　　姫路市立花北診療所　医師
坂本　勝彦　　三木市立三木養護学校　教諭
鈴木めぐみ　　(社団)日本自閉症協会　兵庫県支部　高機能ブロック
　　兵庫県高機能広汎性発達障害児・者・親の会　ピュアコスモ　サイト担当
高井　敏子　　知的障害者授産施設　加古川はぐるまの家　施設長
中川　靖敏　　姫路市教育委員会　指導主事
西口　久代　　社健康福祉事務所　保健師長
福田　　誠　　兵庫県立神戸養護学校　教諭
古川　直樹　　兵庫県立総合リハビリテーションセンター能力開発課　課長
前田　宏章　　兵庫県立こども病院　医師
山田　幸宣　　兵庫県立姫路養護学校　進路指導部長
吉田　裕彦　　三田市立つつじが丘小学校　教諭

【監　　修】
井上　雅彦　　兵庫教育大学　助教授

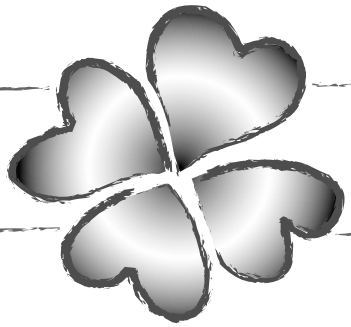
【企画・編集・執筆】
ひょうご自閉症・発達障害支援センター「クローバー」
(スタッフ) 三原　憲二
亀山　隆幸
和田　康宏
橋本　美恵
犬飼　陽子

本書の著作権は、ひょうご自閉症・発達障害支援センター「クローバー」に帰属します

自閉症らいふNote
── 診断を受けて間もないお子さんをもつ　お父さん、お母さんへ ──

発　行　日：2005年３月　発行
発　　行：ひょうご自閉症・発達障害支援センター「クローバー」
〒671－0122　兵庫県高砂市北浜町北脇519
E-mail:auc.clover@nifty.com
URL:http://homepage3.nifty.com/auc-clover/
印　　刷：㈱リョーイン

この冊子は、財団法人　木口ひょうご地域振興財団の助成により発刊するものです。



（財）木口ひょうご地域振興財団　平成16年度 助成事業